

資料2

事業用自動車事故発生状況及び事故の 特徴について

近畿運輸局 自動車技術安全部保安・環境課

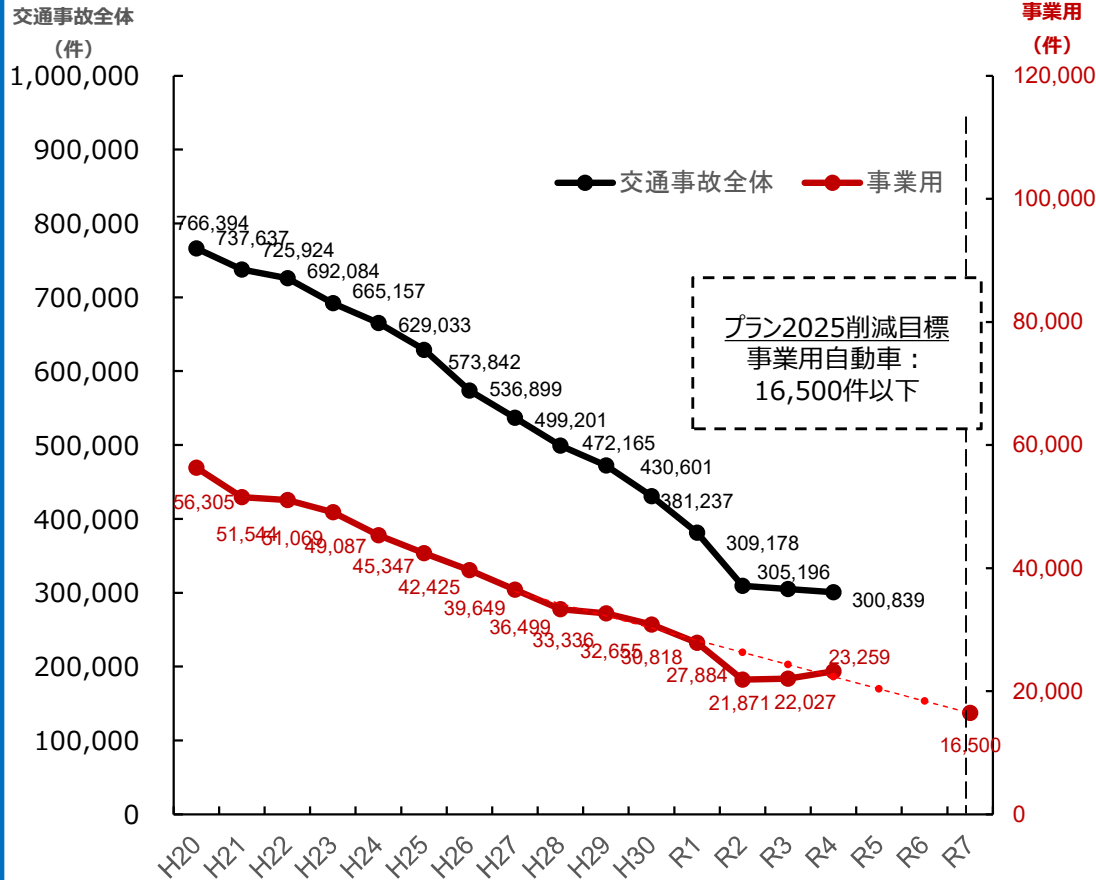
近畿地域事業用自動車安全対策会議

事業用自動車による交通事故件数の推移

- 令和4年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は300,839件、そのうち、事業用自動車の交通事故件数※は23,259件となり、**過去9年間で半減**。
- 各モードの交通事故件数は、**すべてのモードで減少傾向を示しているが、令和3年との比較では全モード増加**。
- トラックの事故件数が増加している主な要因は、**軽貨物の事故件数の増加**にある。(P.8参照)

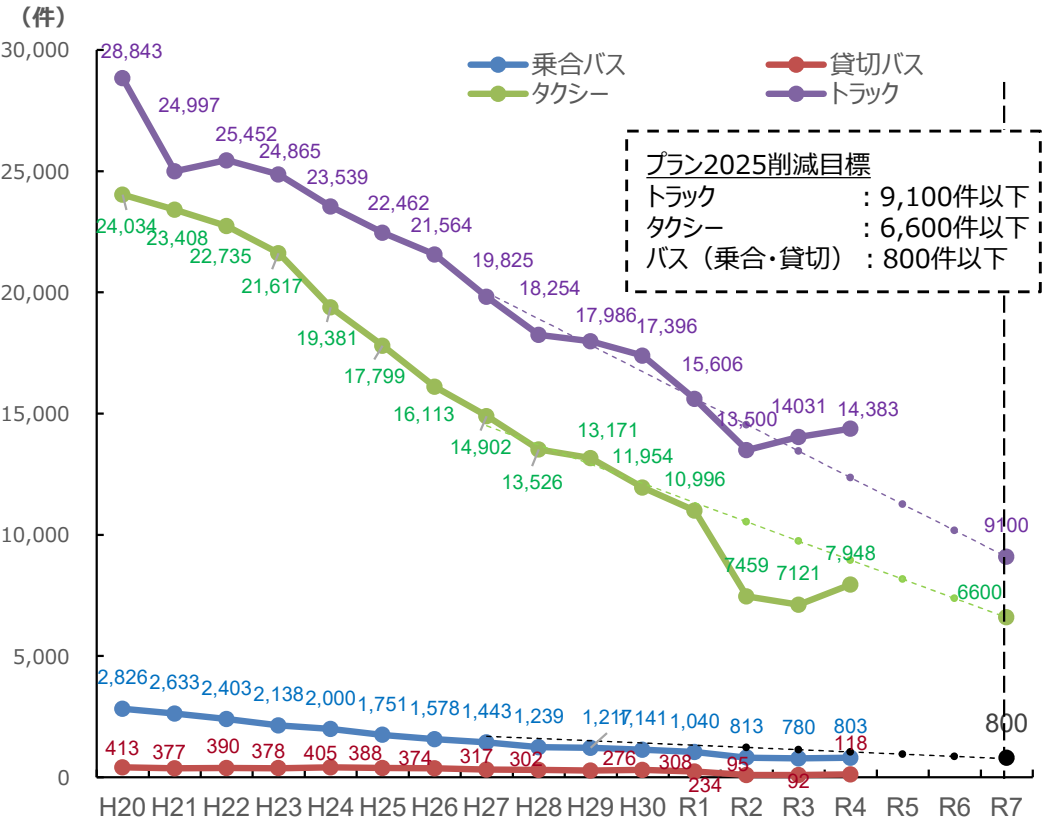
※ 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「令和4年中の交通事故の発生状況」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故の推移



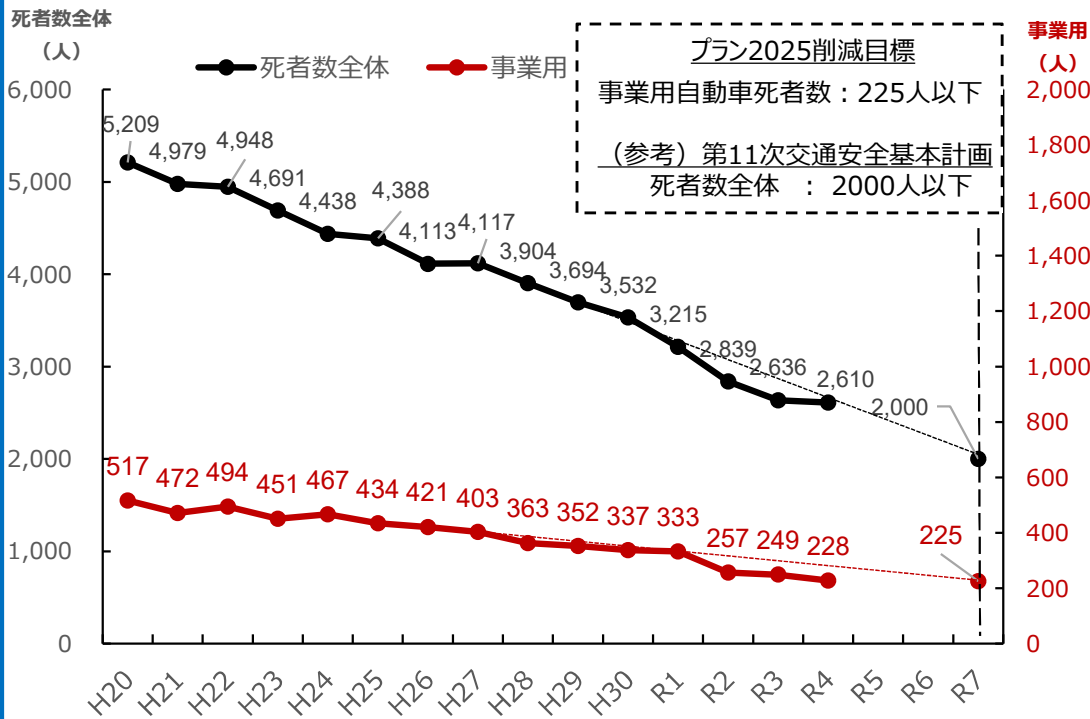
プラン2025削減目標
 トラック : 9,100件以下
 タクシー : 6,600件以下
 バス(乗合・貸切) : 800件以下

出典(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による交通事故死者数の推移

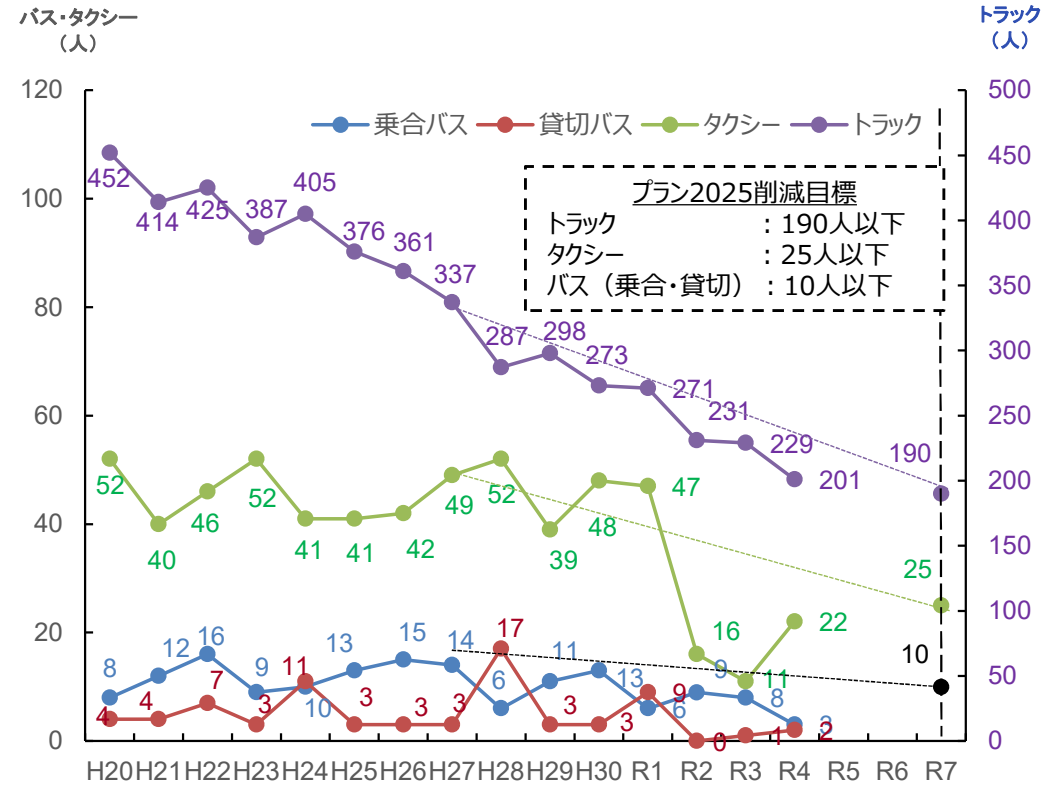
- 令和4年中に発生した交通事故全体の死者数は2,610人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は228人(前年比21人減)であった。
- 令和4年の各モードの交通事故死者数は、タクシー・貸切バスは増加、トラック・乗合バスは前年より減少。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「令和4年中の交通事故の発生状況」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故死者数の推移



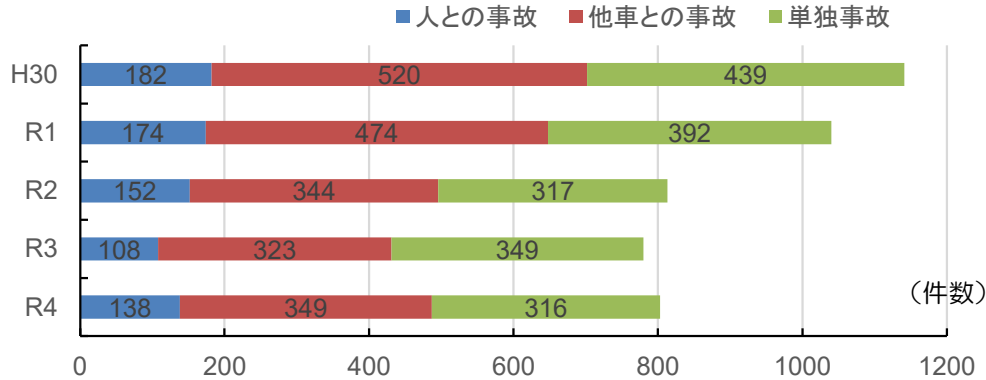
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

業態別の特徴的な事故(乗合バス)

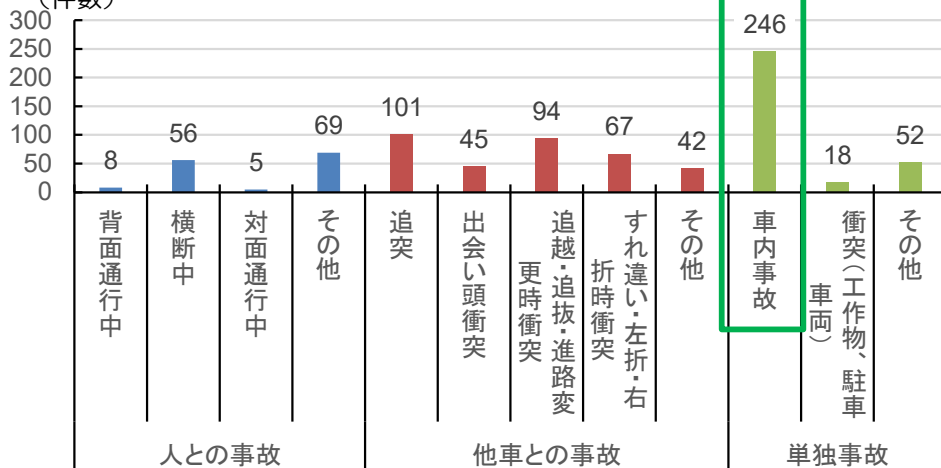
- 交通事故全体の件数は近年横ばい傾向を示しており、令和4年は803件であった。事故類型としては、「**車内事故**」が全体の約**3割にあたる246件発生しており、最多**。
- 死亡事故の件数は減少傾向を示しており、令和4年は**2件**であった。事故を類型化すると、「**横断中の歩行者との事故**」及び「**工作物との衝突**」であった。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

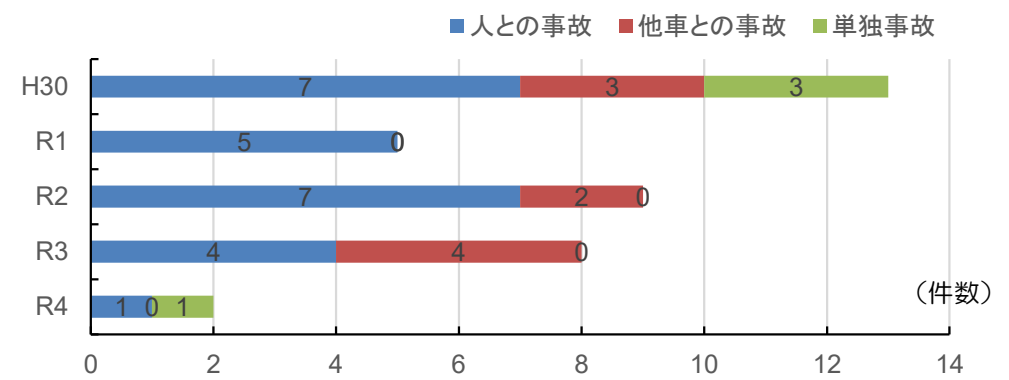


○令和4年事故類型別事故件数の内訳 (件数)

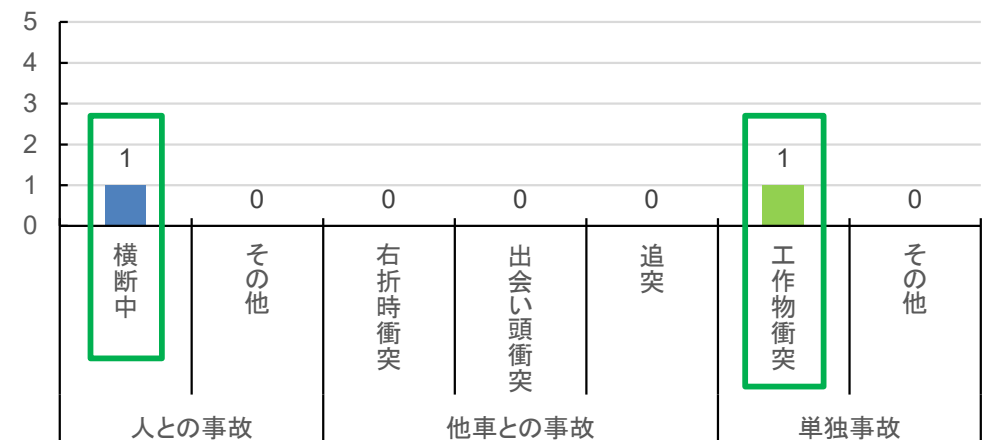


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和4年事故類型別死亡事故件数の内訳 (件数)

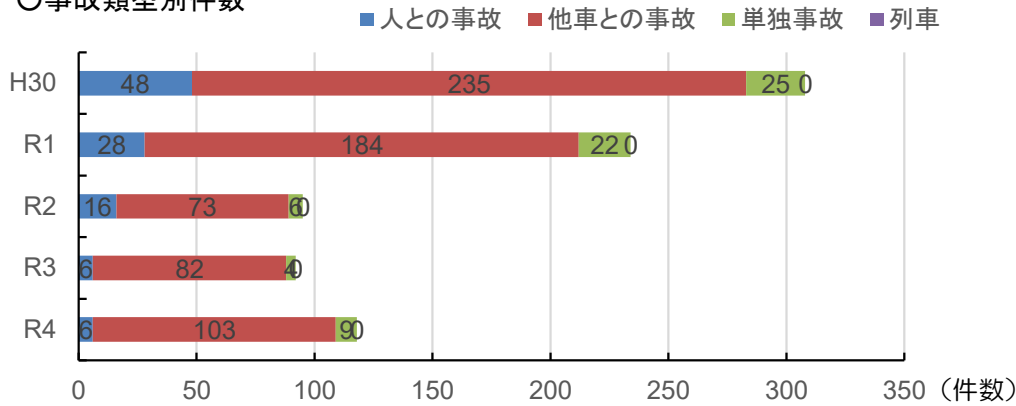


業態別の特徴的な事故(貸切バス)

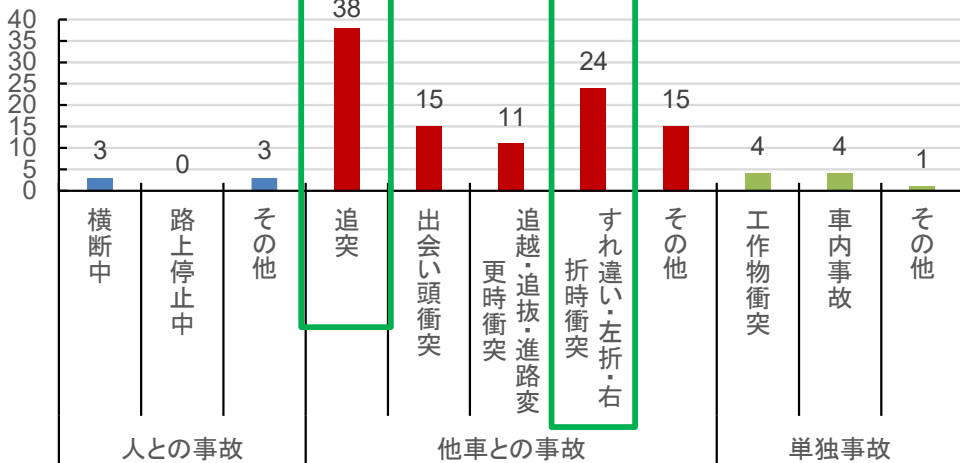
- 交通事故全体の件数は近年横ばい傾向を示しており、令和4年は118件であった。事故類型としては、「追突事故」の他、右左折時等の衝突事故が多い。
- 死亡事故の件数は近年1ケタ台で推移しており、令和4年は2件であり、出会い頭衝突と工作物衝突により発生したものの。

貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

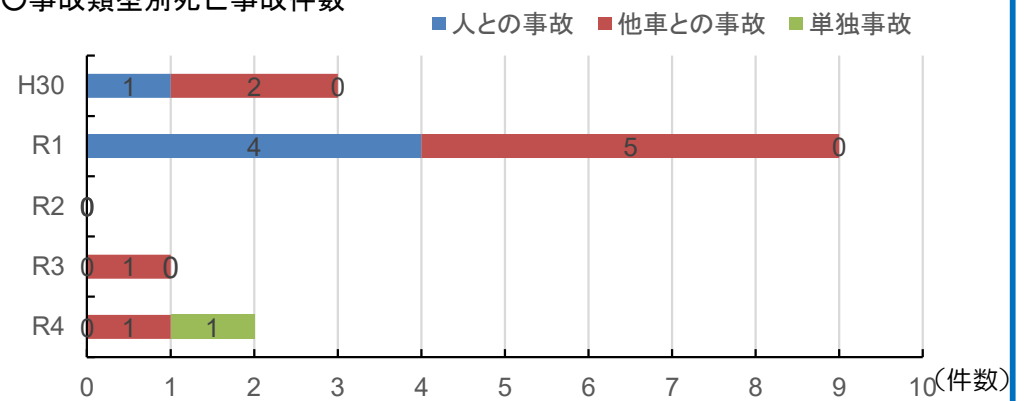


○令和4年事故類型別事故件数の内訳 (件数)



貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和4年事故類型別死亡事故件数の内訳

※令和4年の2件は、出会い頭衝突と、工作物衝突により発生したものの。

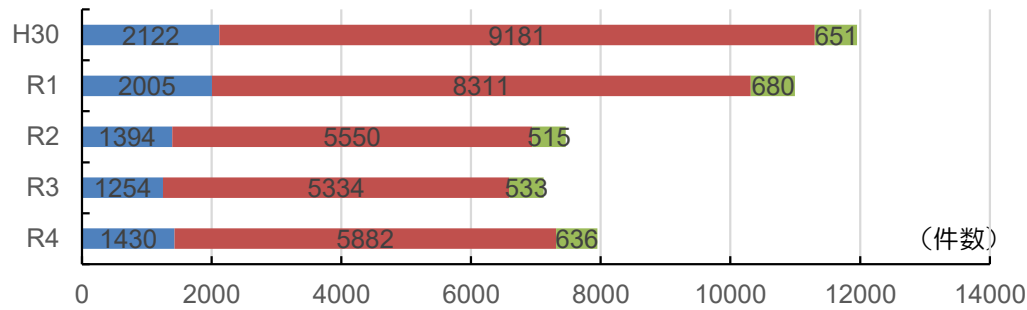
業態別の特徴的な事故(タクシー)

- 交通事故全体の件数は近年横ばい傾向を示しており、令和4年は7,948件であった。事故類型は、「出会い頭衝突事故」、「追突」、「右左折時等の衝突」が多い。
- 死亡事故の件数も近年横ばい傾向を示しており、令和4年は22件であった。事故類型は「路上横臥中」の人との接触が最も多い。

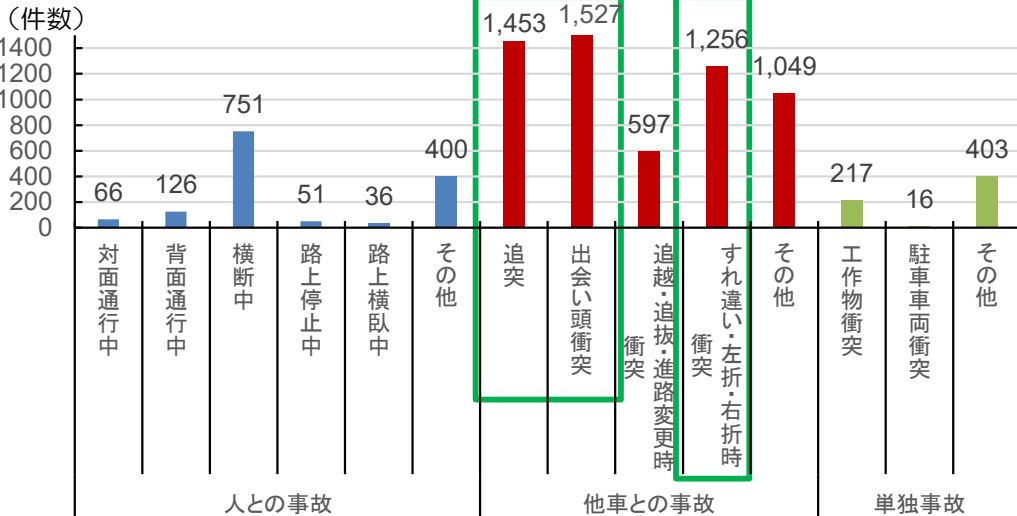
タクシーの事故類型

○事故類型別件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故



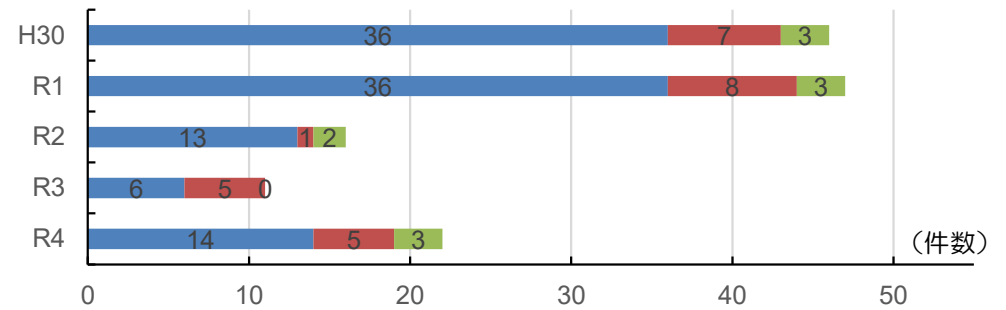
○令和4年事故類型別事故件数の内訳



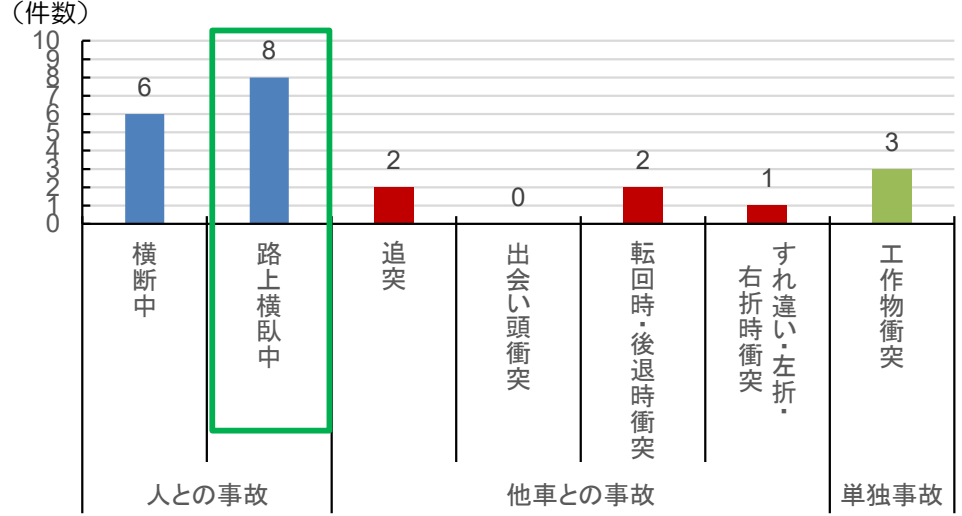
タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故



○令和4年事故類型別死亡事故件数の内訳

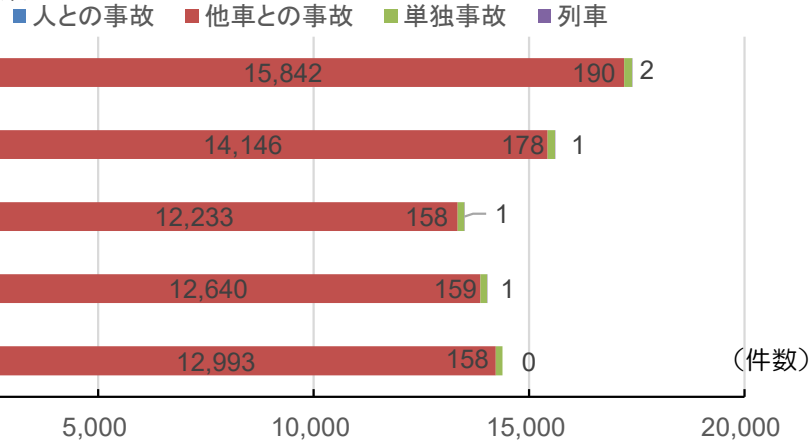


業態別の特徴的な事故(トラック)

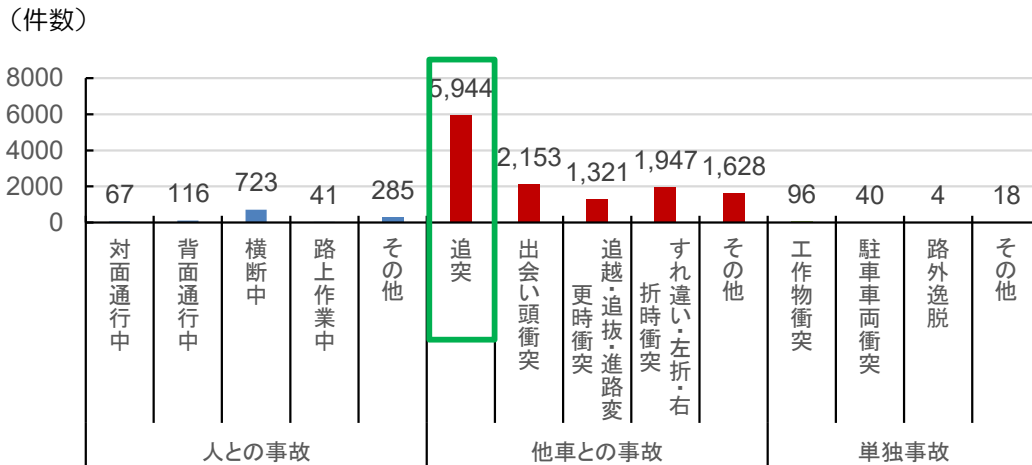
- トラックによる交通事故全体の件数は近年横ばい傾向を示しており、令和4年は14,383件であった。事故類型は、「追突事故」が全体の約4割にあたる5,944件発生しており、最多。
- 死亡事故の件数は減少傾向を示しており、令和4年は196件(過去最少)であった。事故類型は、「横断中の歩行者との事故」が全体の約2割強にあたる48件発生しており、最多。

トラックの事故類型

○事故類型別件数

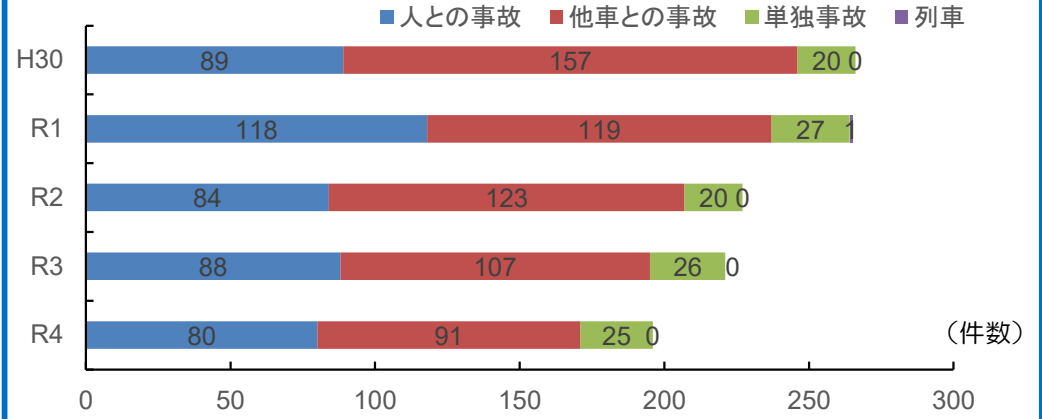


○令和4年事故類型別事故件数の内訳

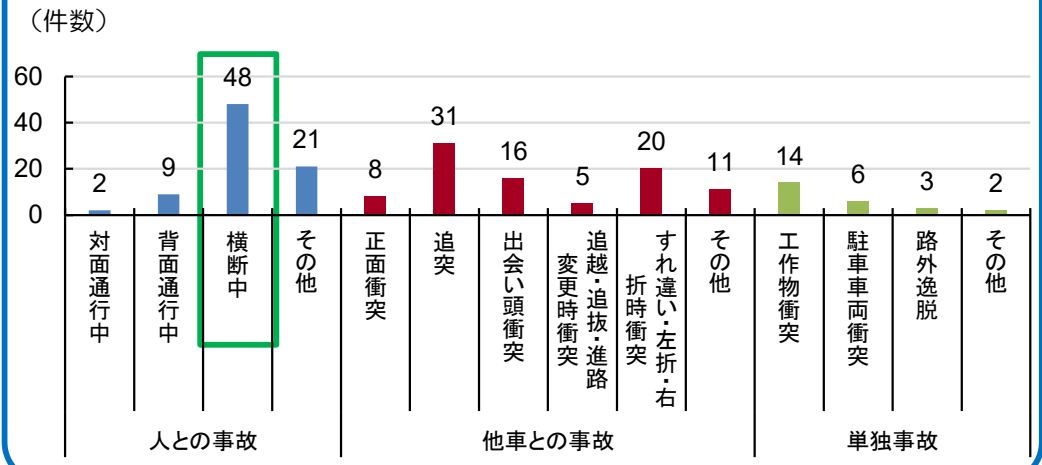


トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和4年事故類型別死亡事故件数の内訳

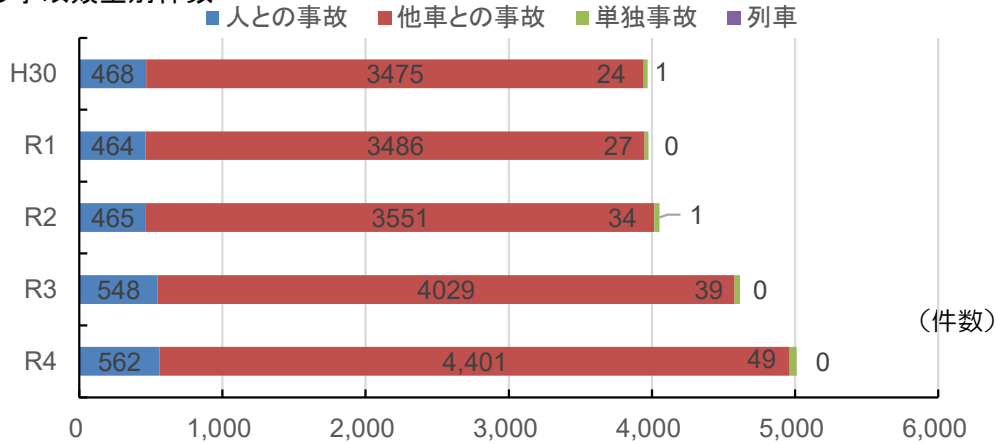


業態別の特徴的な事故(軽貨物)

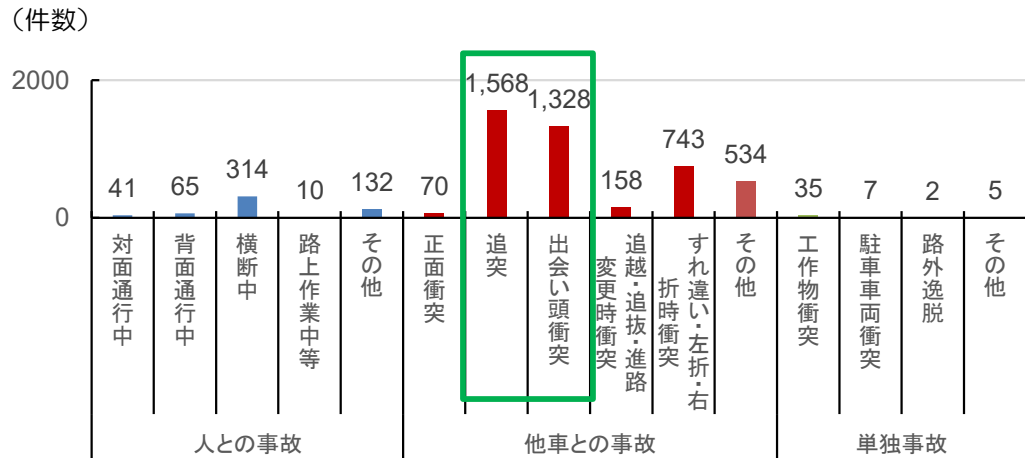
○ 軽貨物自動車による交通事故全体の件数は増加傾向を示しており、令和4年は5,012件であった。事故類型は、「追突事故」が最も多い。

軽貨物の事故類型

○事故類型別件数

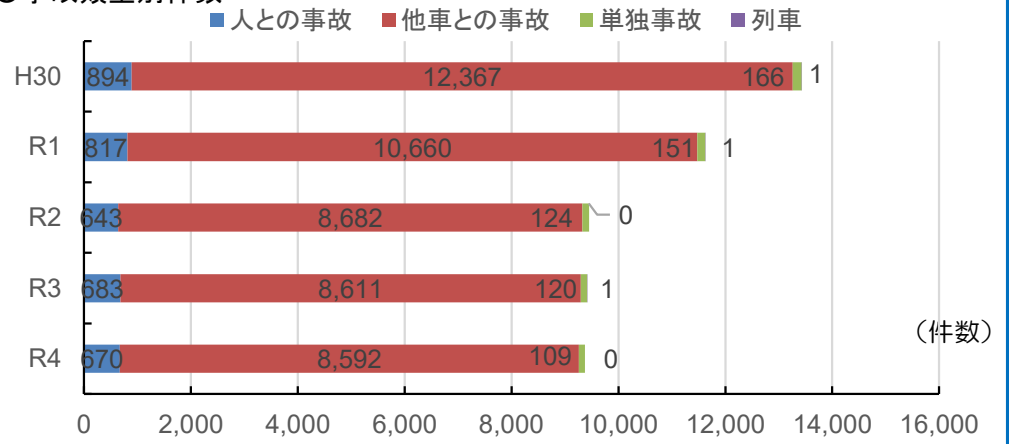


○令和4年事故類型別事故件数の内訳

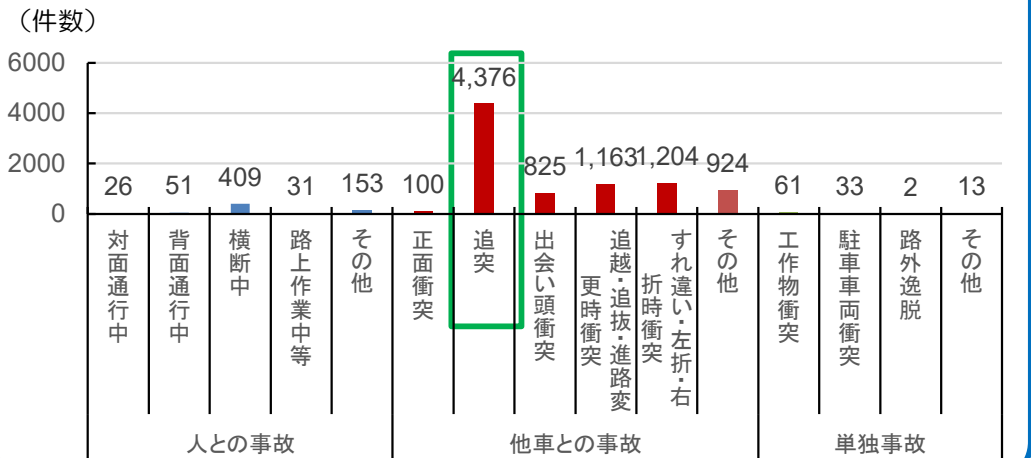


軽貨物以外のトラックの事故類型

○事故類型別件数



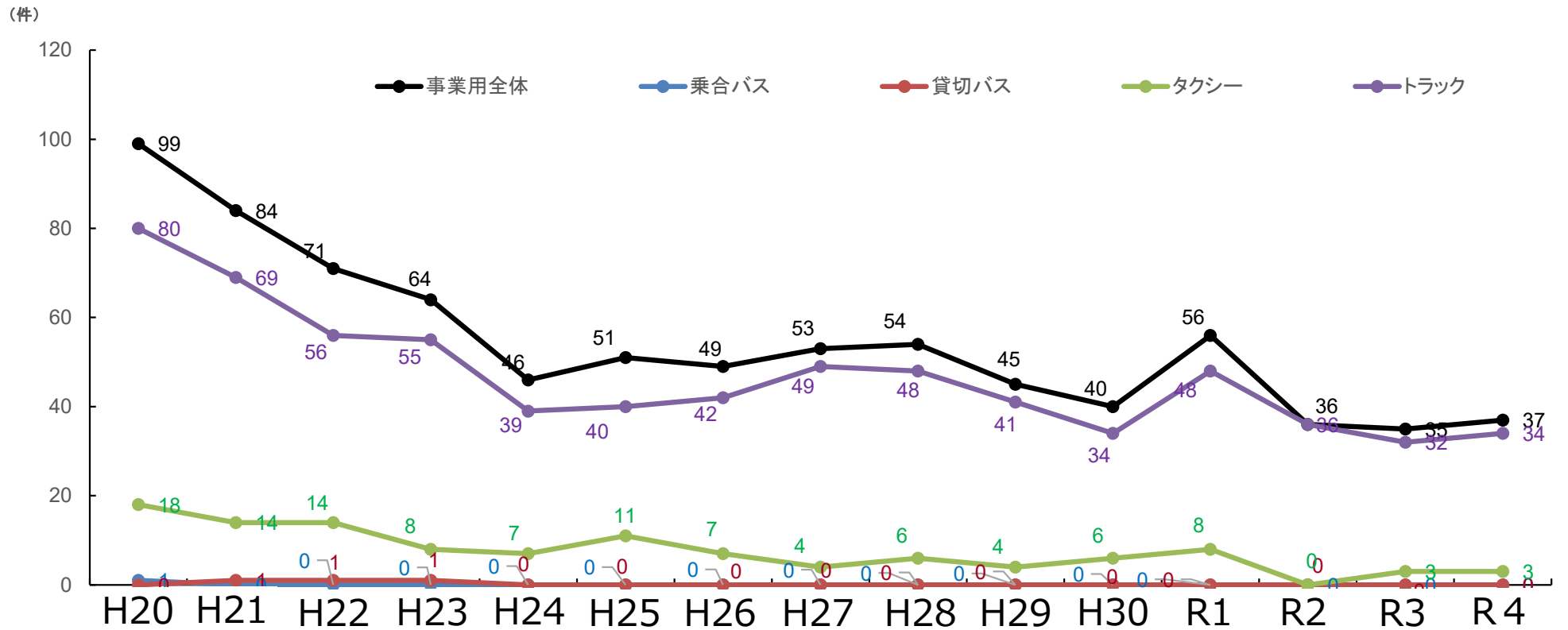
○令和4年事故類型別事故件数の内訳



事業用自動車による飲酒運転事故件数の推移

- 事業用自動車による飲酒運転事故件数は、平成24年以降横ばいの状況が続いている。
- 飲酒運転の根絶に向け、引き続き飲酒運転を未然に防止するためのルール作り等の取組が必要。

飲酒運転による事業用自動車の交通事故



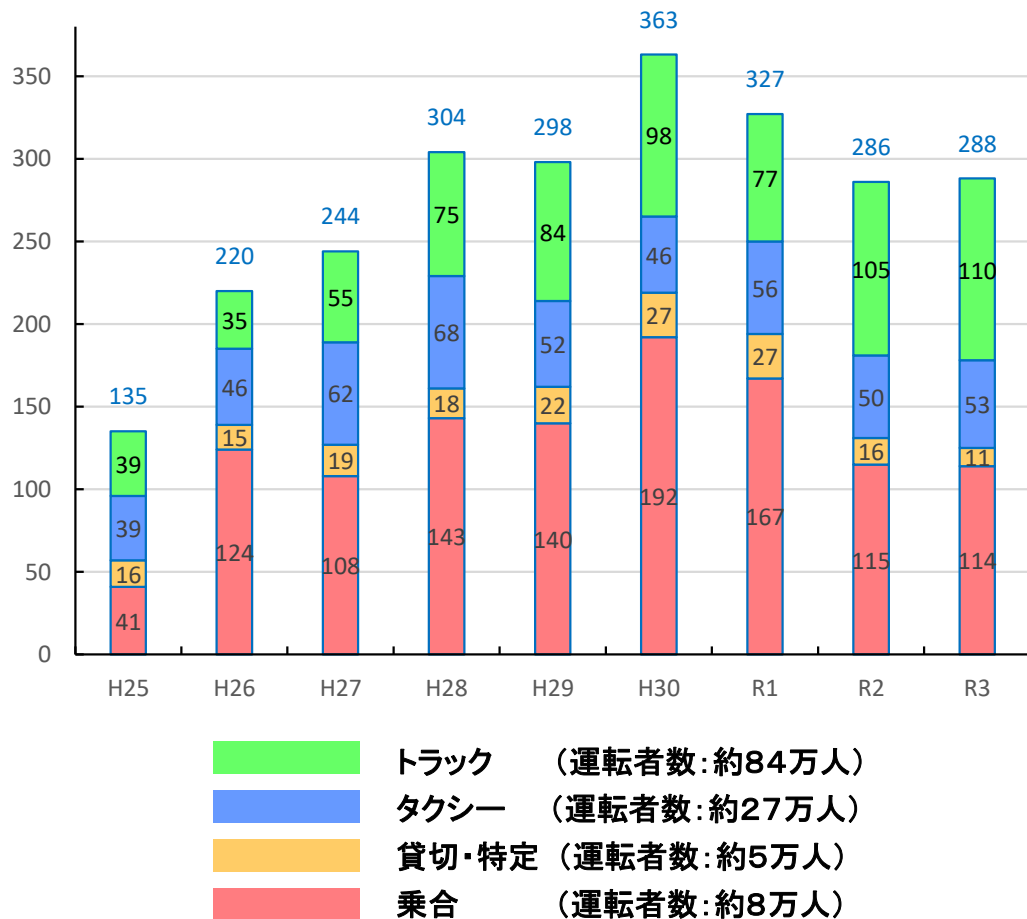
出典：警察庁「交通統計」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

運転者の健康状態に起因する事故報告件数の推移

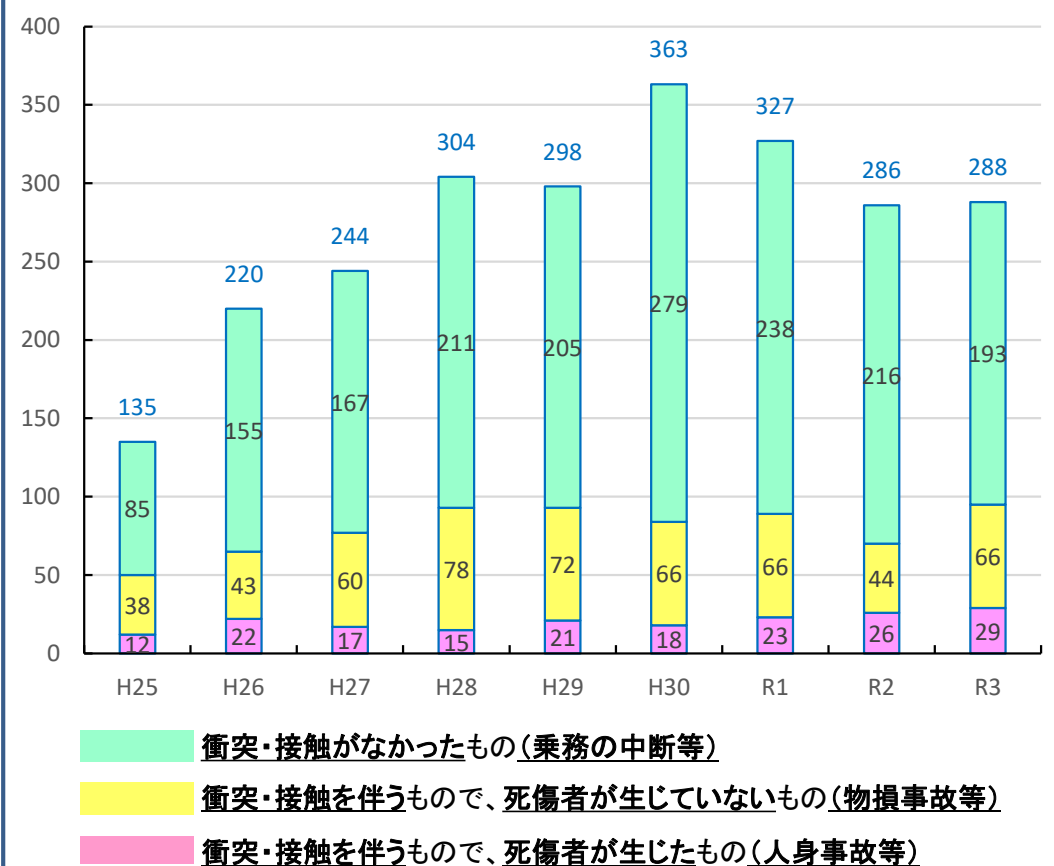
○運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなった事案として、自動車事故報告規則に基づき報告のあった件数は高止まりの状況。

○令和3年は健康起因事故報告件数のうち3割が交通事故に至っており、更なる低減が必要な状況。

健康状態に起因する事故報告件数 (業態毎の件数)

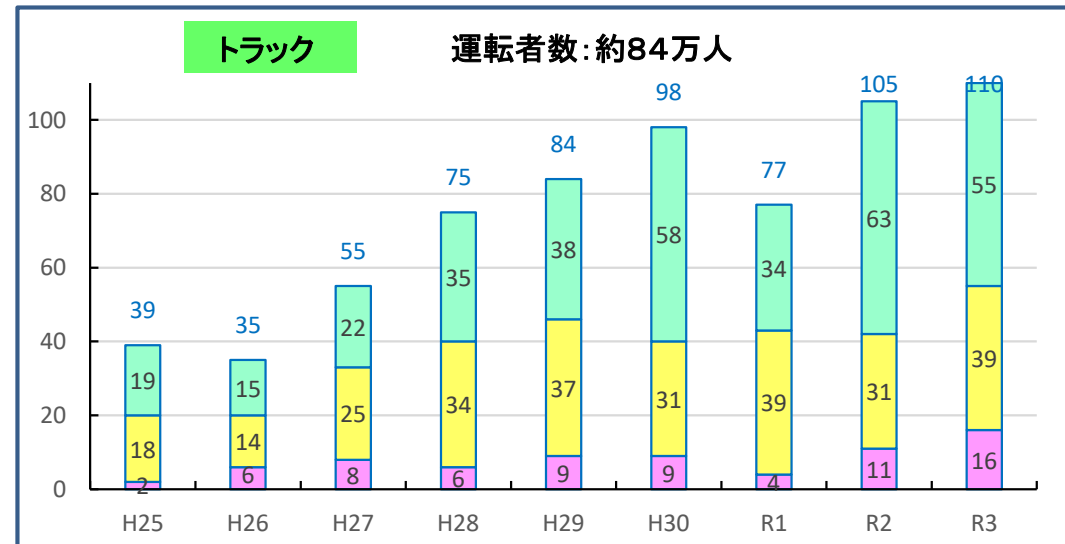
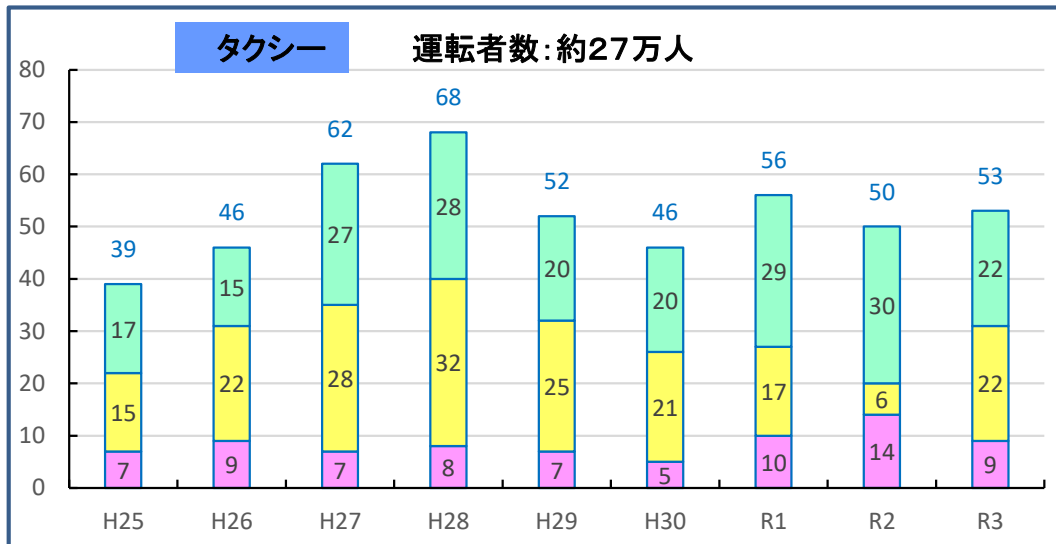
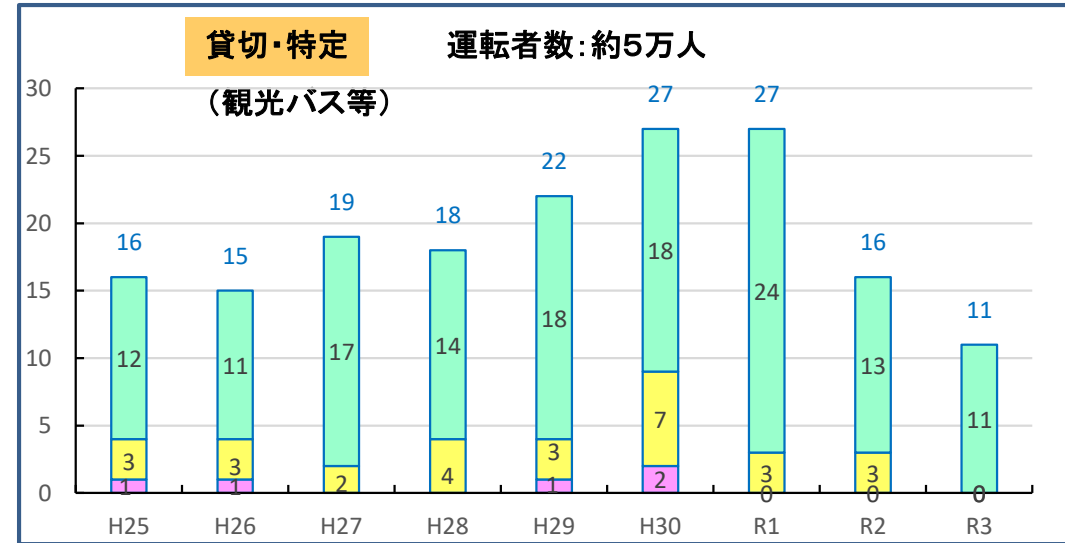
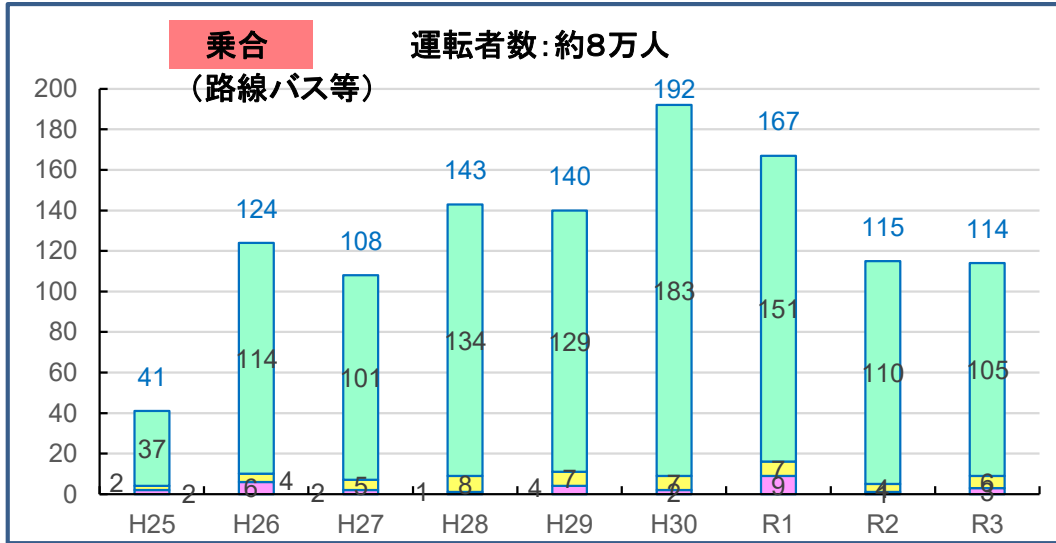


健康状態に起因する事故報告件数 (報告内容毎の件数)



業態別の健康状態に起因する事故報告件数の推移

○乗合バス、貸切・特定バス、タクシーにおける健康起因事故報告件数は、高止まりの状況。トラックは増加傾向。
 ○バスの多くは事故に至らずに乗務の中断を実施している一方、タクシー、トラックでは約半数が事故に至っている。



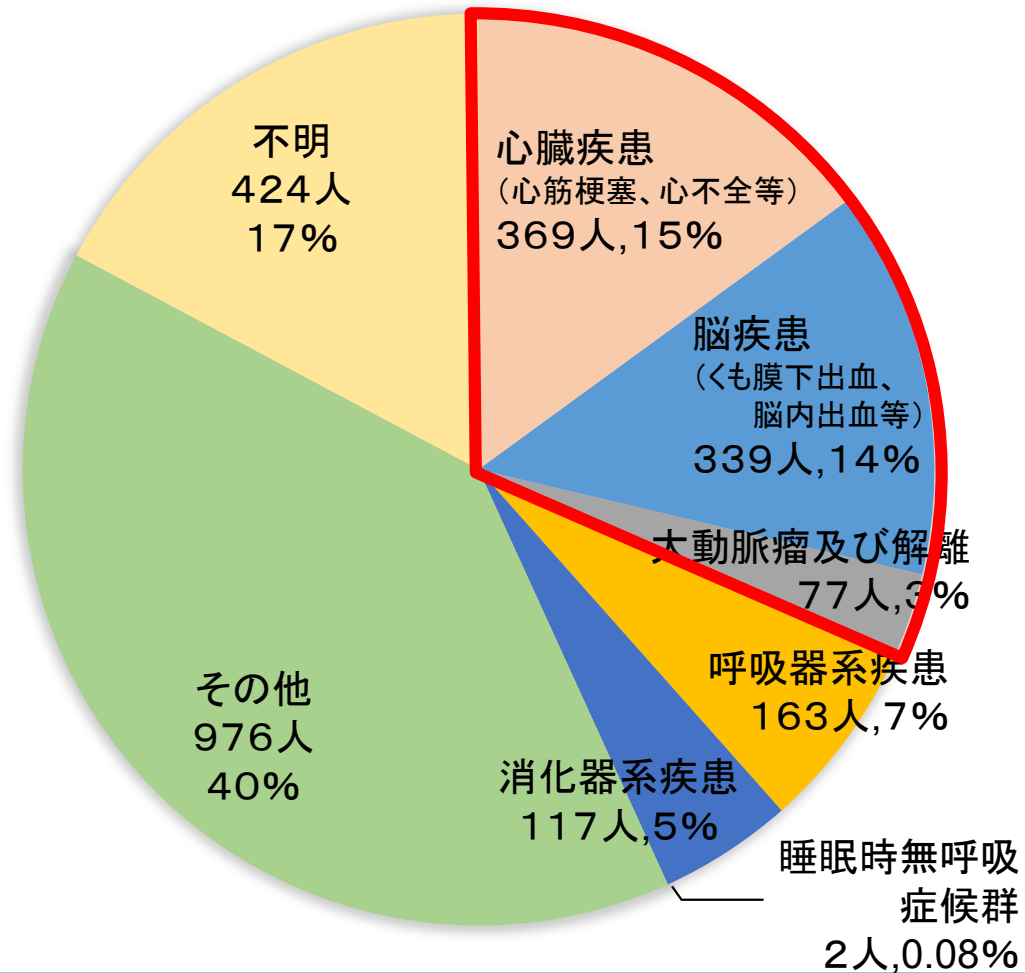
■ 衝突・接触がなかったもの(乗務の中断等)
 ■ 衝突・接触を伴うもので、死傷者が生じていないもの(物損事故等)
 ■ 衝突・接触を伴うもので、死傷者が生じたもの(人身事故等)

健康起因事故の疾病別の内訳(平成25年～令和3年)

- 過去9年間で健康起因事故を起こした運転者2,465人のうち心臓疾患、脳疾患、大動脈瘤及び解離が32%を占める。
- うち、死亡した運転者426人の疾病別内訳は、心臓疾患が55%、脳疾患が12%、大動脈瘤及び解離が12%を占める。

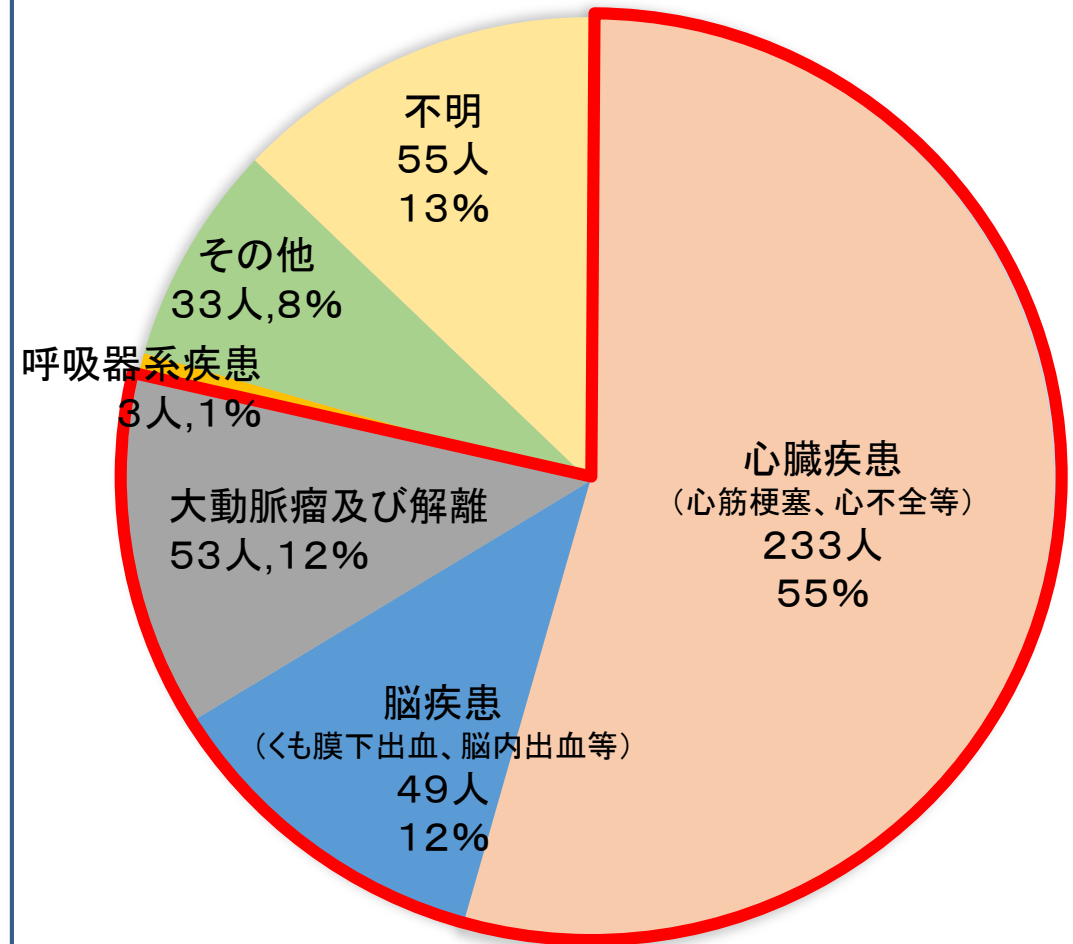
健康起因事故を起こした運転者の疾病別内訳 (平成25年～令和3年)

計2,465人



健康起因により死亡した運転者の疾病別内訳 (平成25年～令和3年)

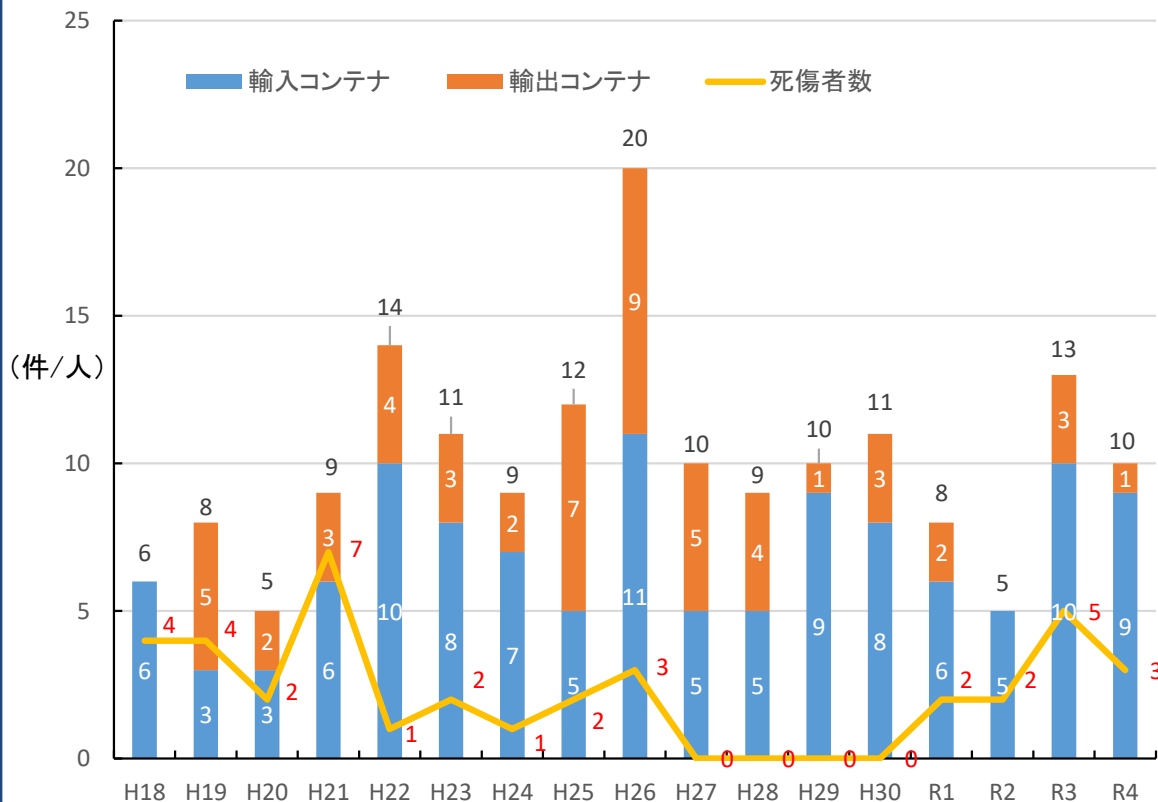
計426人



- 国際海上コンテナの横転事故等の発生件数は近年横ばい傾向。令和4年の事故件数は10件であり、うち9件は輸入コンテナにより発生している。
- 国際海上コンテナの横転事故等による死傷者数は令和元年以降増加。令和4年は重傷者が3名発生しており引き続き事故防止に向けた取組が必要。

海コン横転等事故発生状況

横転事故等発生件数 (自動車事故報告規則に基づき報告があったもの)



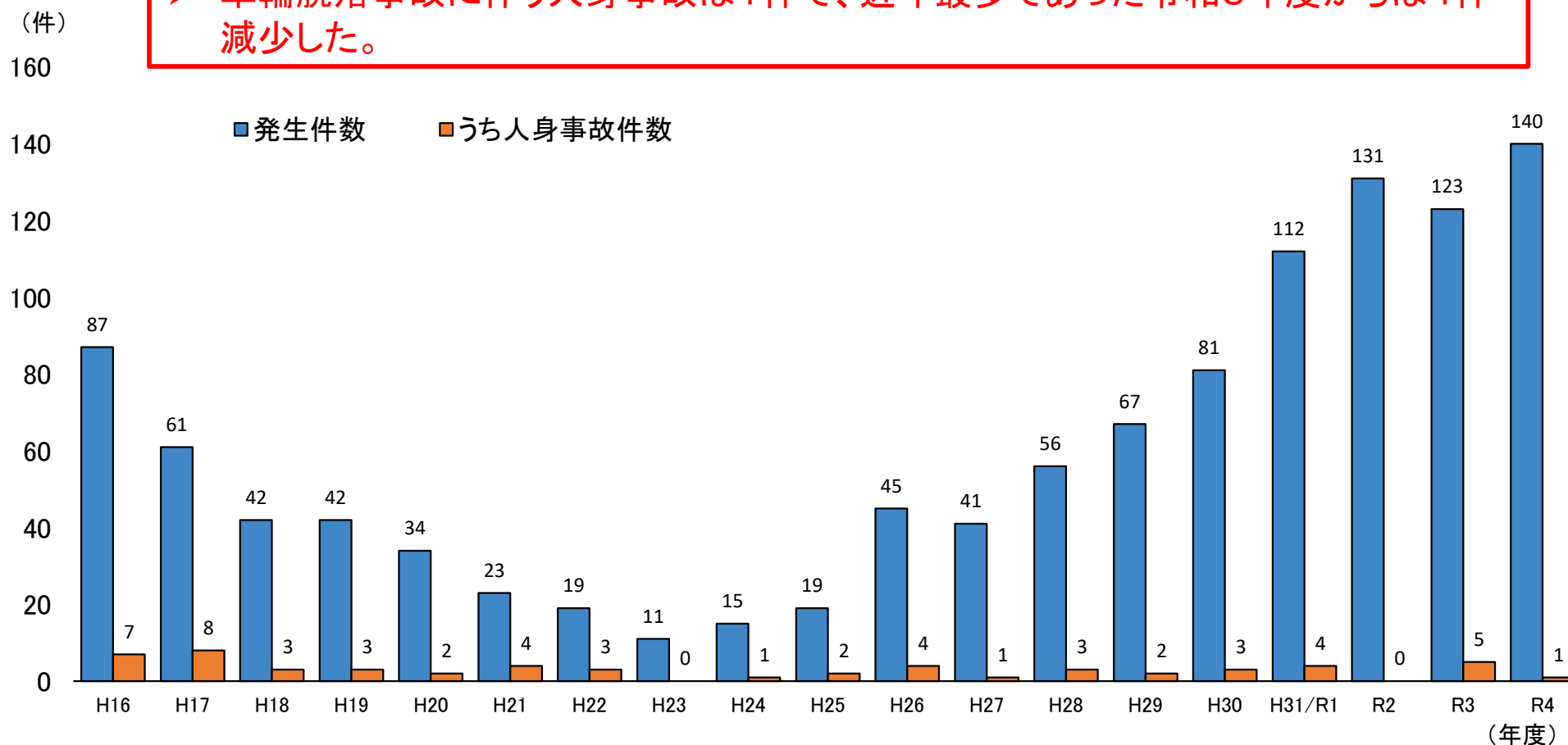
横転事故等による死傷者数

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
死者数	2人	2人	2人	4人	1人	1人	1人	1人	3人
重傷者数	2人	2人	0人	3人	0人	1人	0人	1人	0人

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
死者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人
重傷者数	0人	0人	0人	0人	2人	2人	3人	3人

年度別の大型車の車輪脱落事故の発生件数

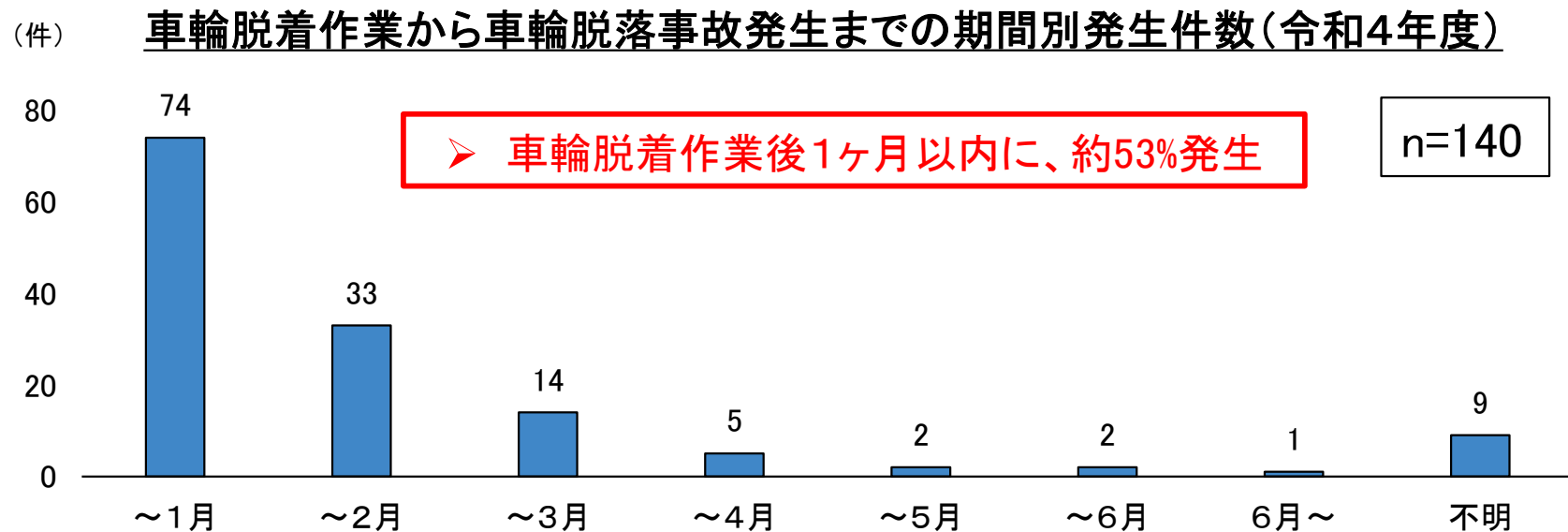
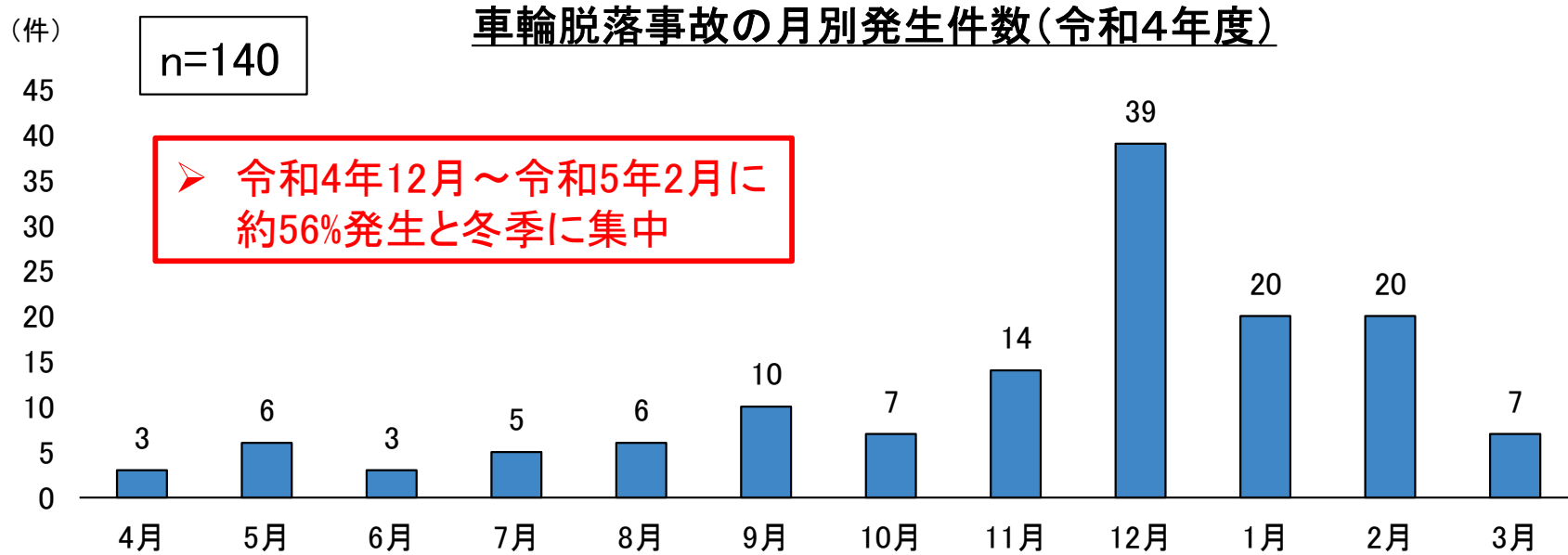
- 大型車の車輪脱落事故の発生件数は、ここ数年増加傾向にあり、令和4年度の車輪脱落事故発生件数は140件であり、令和3年度の123件より17件増加した。
- 車輪脱落事故に伴う人身事故は1件で、近年最多であった令和3年度からは4件減少した。



※1 車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

※2 大型車の内、乗車定員30人以上の自動車の件数(H27年度:3件、H28年度:1件、H29年度:1件、H30年度:3件、H31/R1年度:1件、R2年度:0件、R3年度:2件、R4年度:2件)

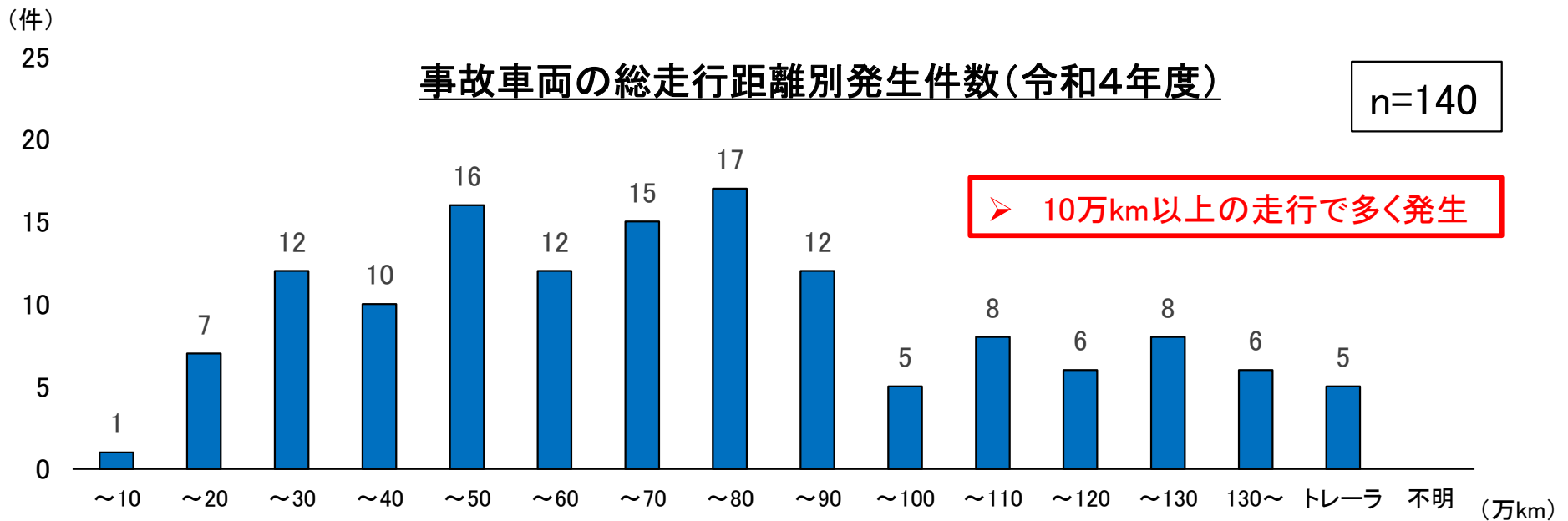
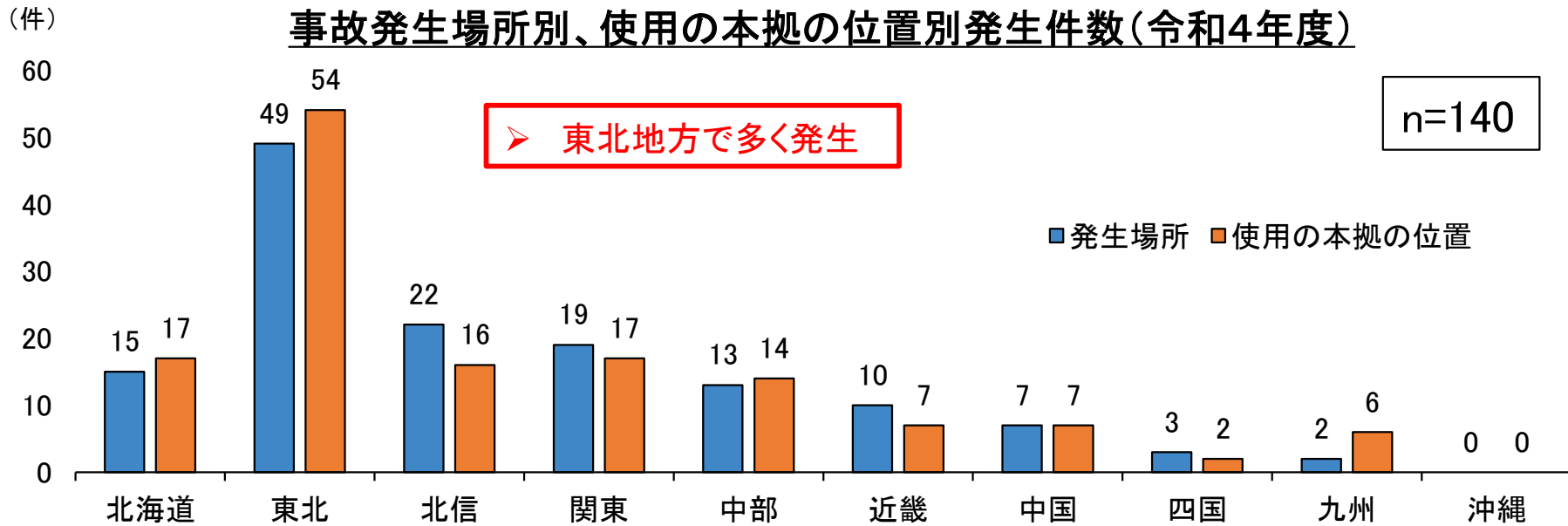
出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告



※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

令和4年度 大型車の車輪脱落事故発生状況③



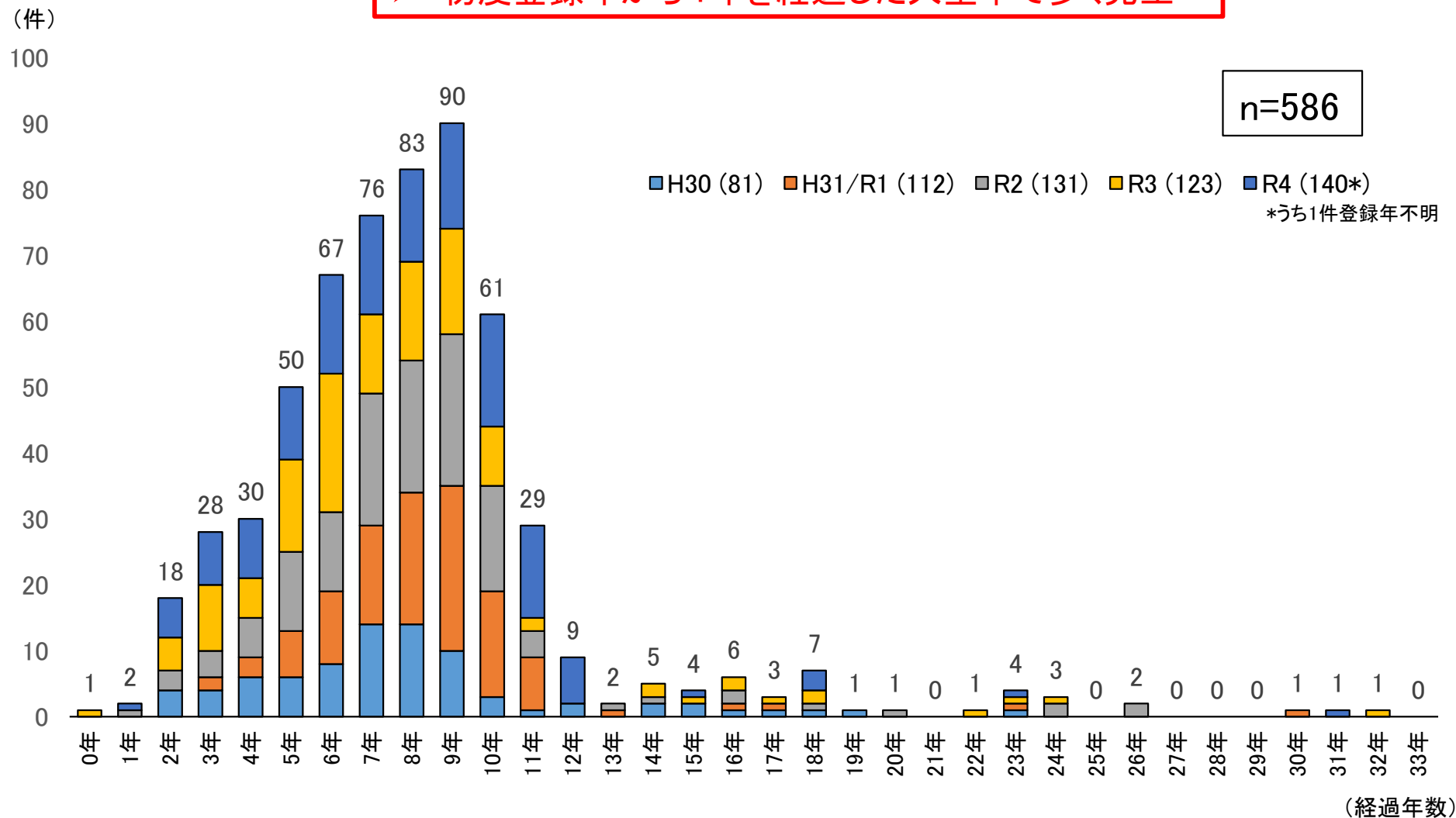
※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

令和4年度 大型車の車輪脱落事故発生状況⑤

車歴別の車輪脱落事故の発生件数(平成30年度～令和4年度)

➤ 初度登録年から4年を経過した大型車で多く発生

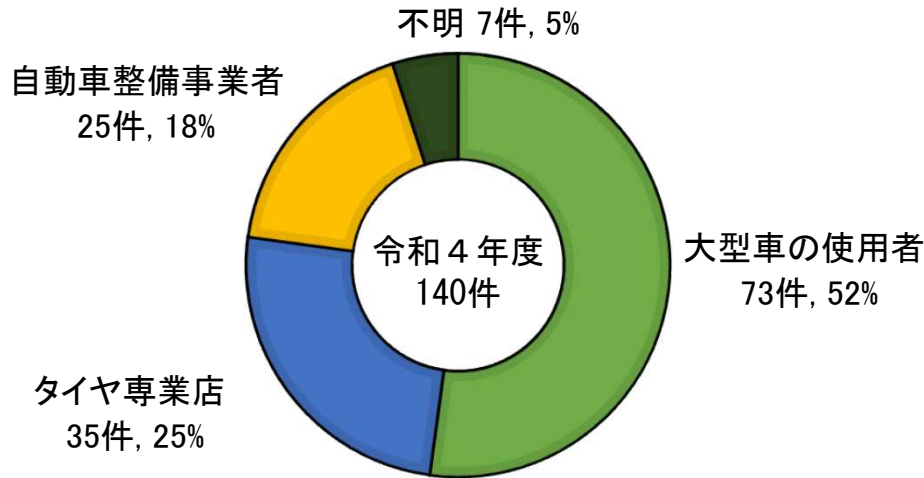


※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

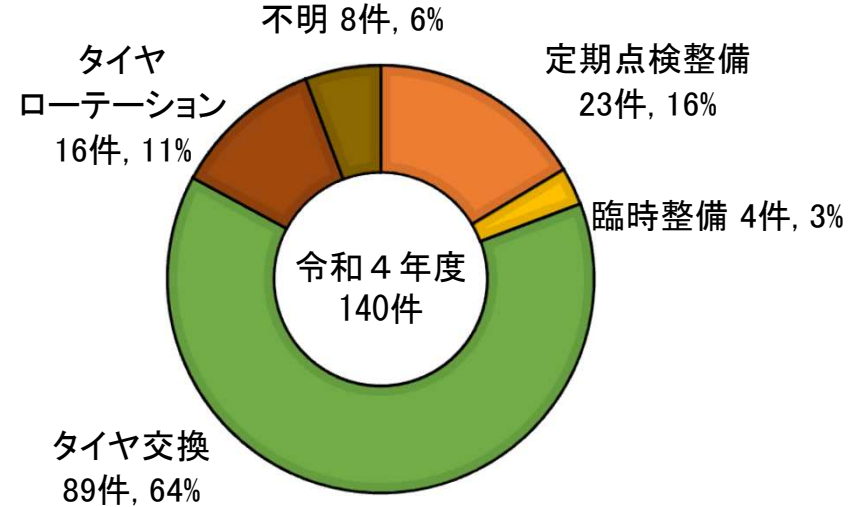
タイヤ脱着作業実施者別発生件数

➤ 大型車ユーザーによるタイヤ脱着作業後の脱落が約52%



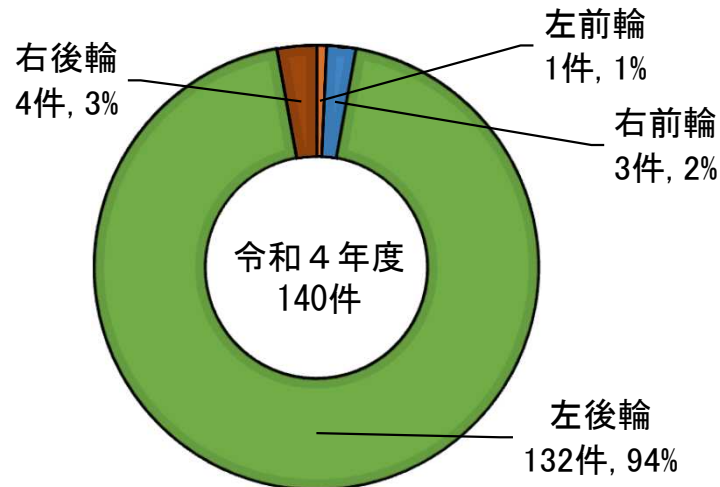
タイヤ脱着作業内容別発生件数

➤ 冬用タイヤ等への交換後による脱落が約64%



車輪脱落箇所別発生件数

➤ 左後輪からの脱落が約94%

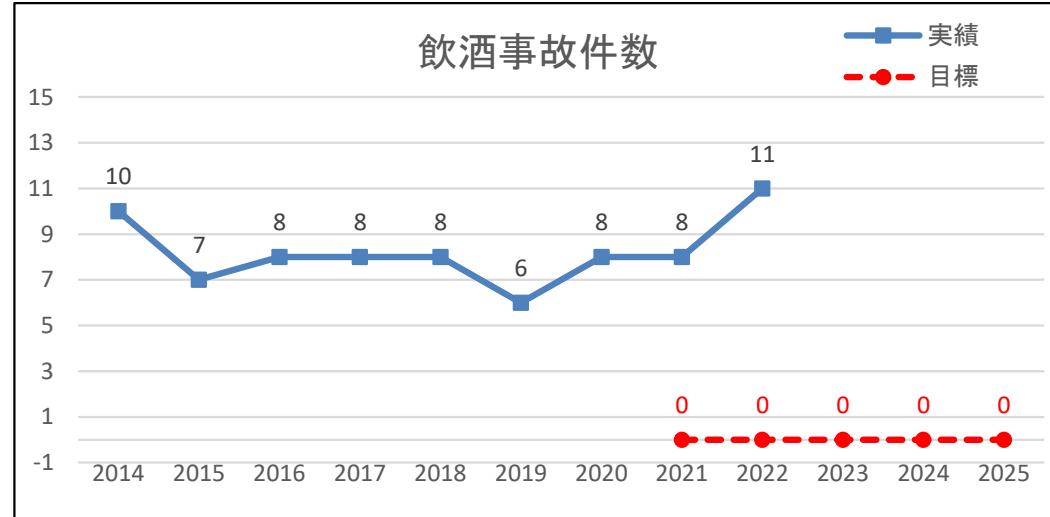
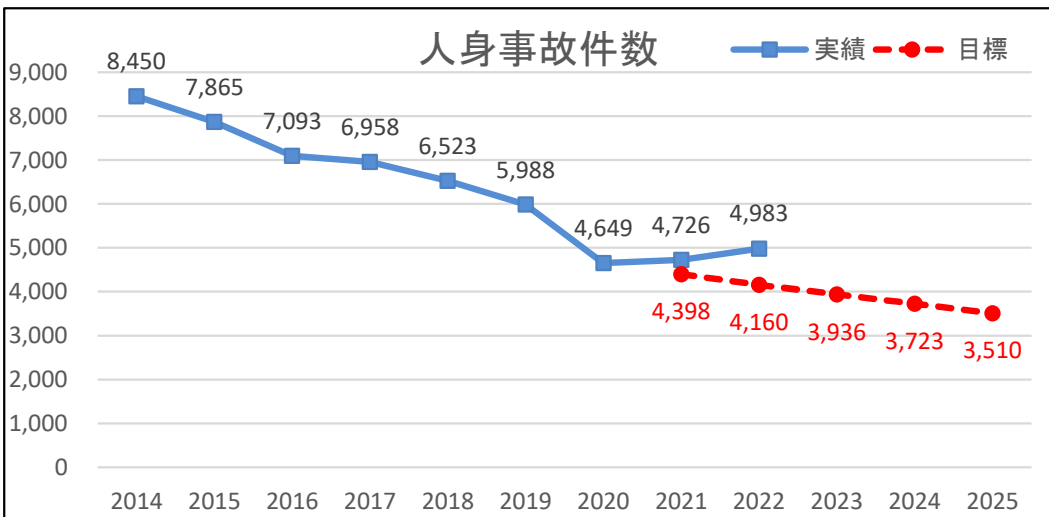
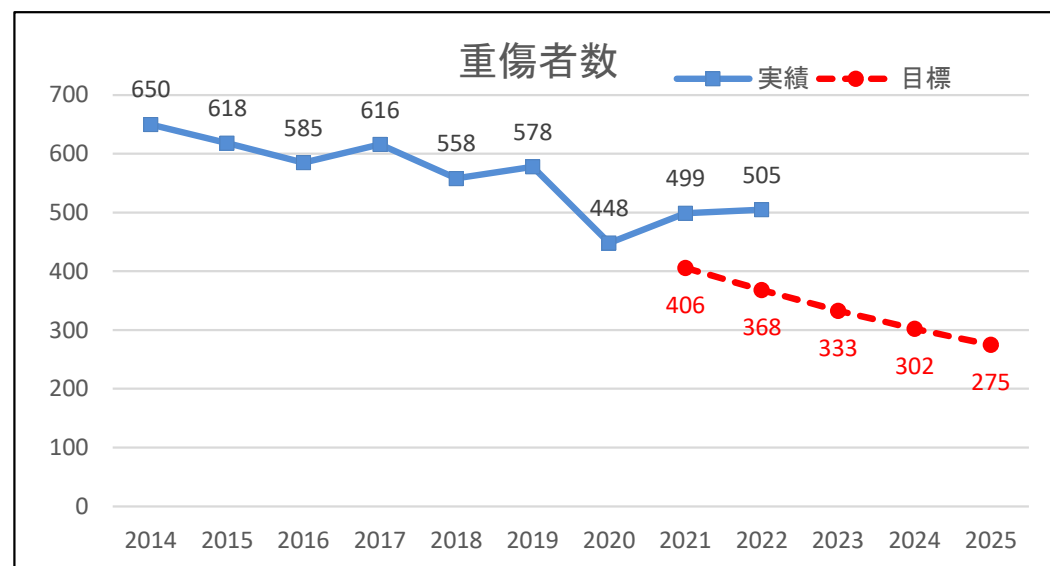
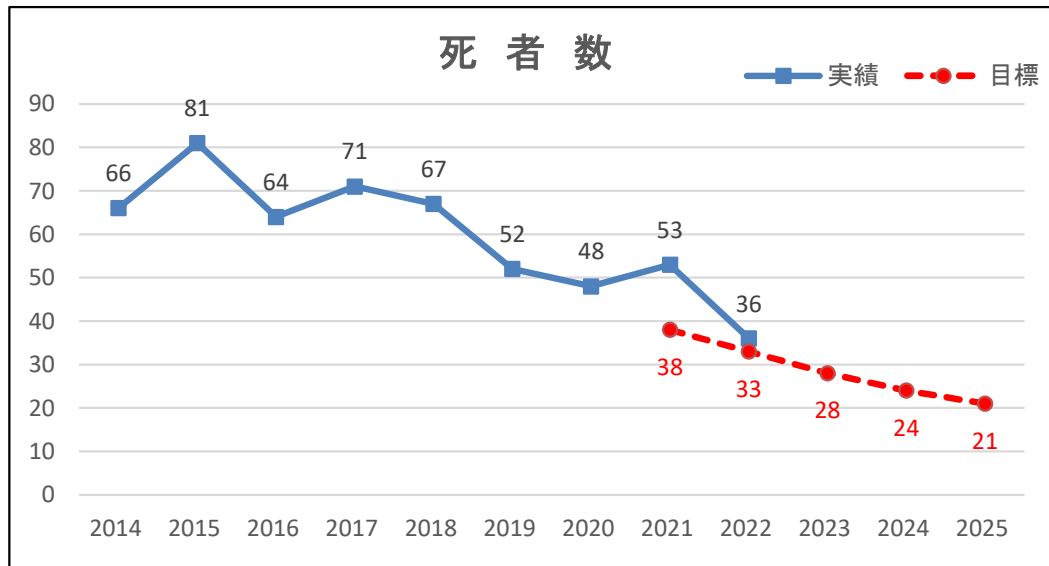


※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故
出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

事業用自動車事故削減目標(近畿)

目標値 (プラン2025)

☆死者数21人以下 ☆重軽傷数275人以下 ☆人身事故件数3,510件以下 ☆飲酒運転ゼロ



死者数及び人身事故件数は近畿管内の事業用自動車为全国で第一当事者として惹起した数値
 出典:(公財)交通事故総合分析センター

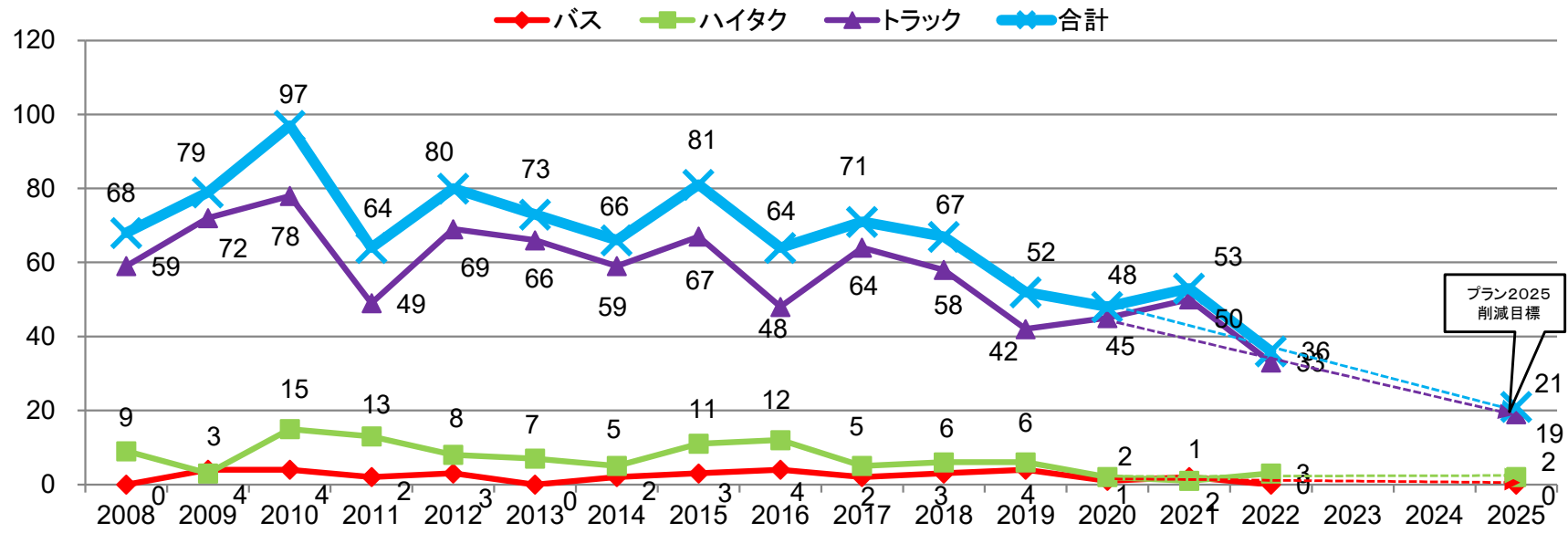
事業用自動車の死者数及び人身事故件数(近畿:モード別)

死者数

事故削減目標値

● 死者数

バス:0人
 ハイタク:2人以下
 トラック:19人以下

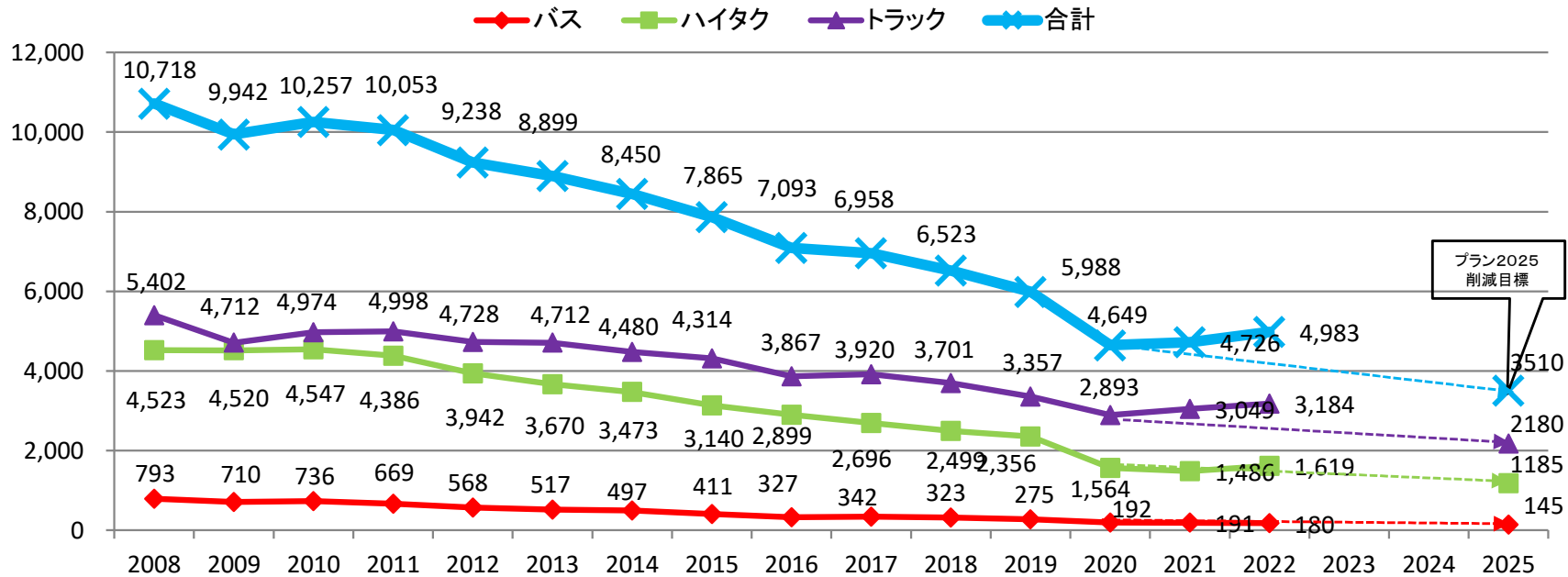


人身事故件数

事故削減目標値

● 人身事故件数

バス:145件以下
 ハイタク:1,185件以下
 トラック:2,180件以下



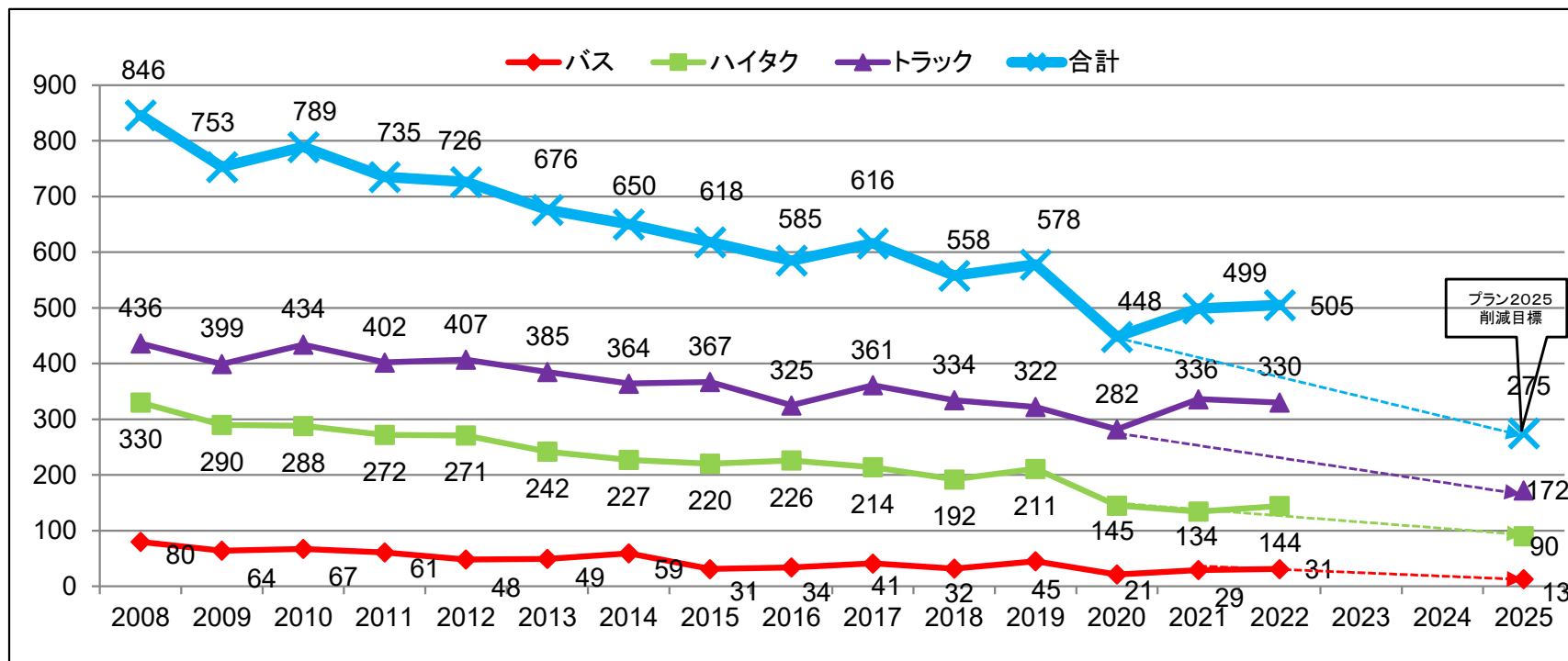
事業用自動車の死者数及び人身事故件数(近畿:モード別)

重傷者数

事故削減目標値

●重症者数

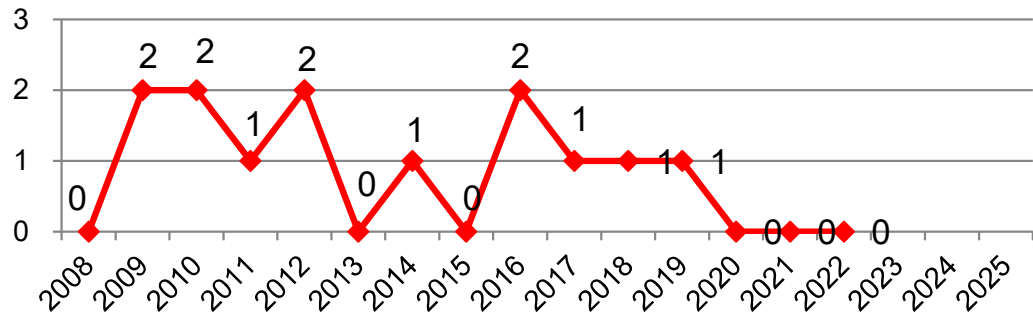
- バス:13人
- ハイタク:90人以下
- トラック:172人以下



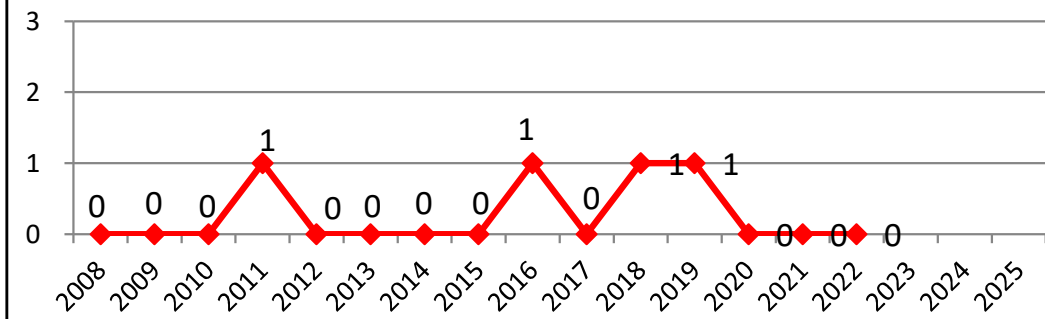
出典:(公財)交通事故総合分析センター

府県別の事業用自動車の死者数(バス)

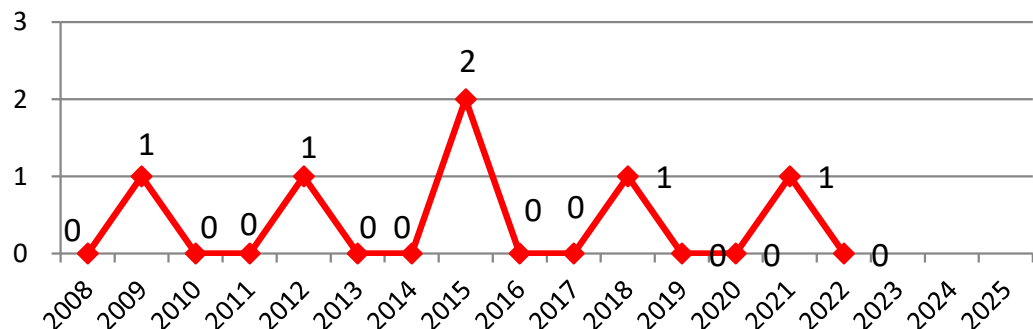
(大阪府)



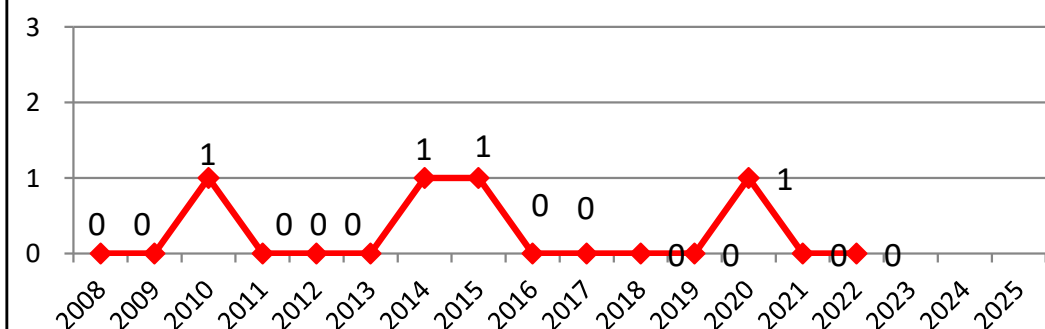
(滋賀県)



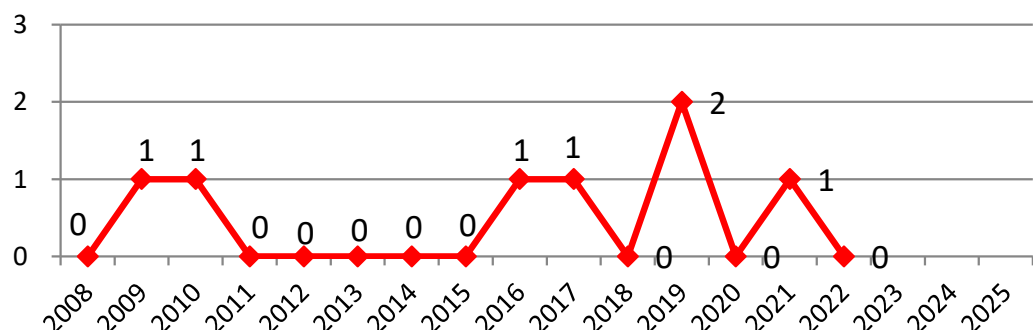
(京都府)



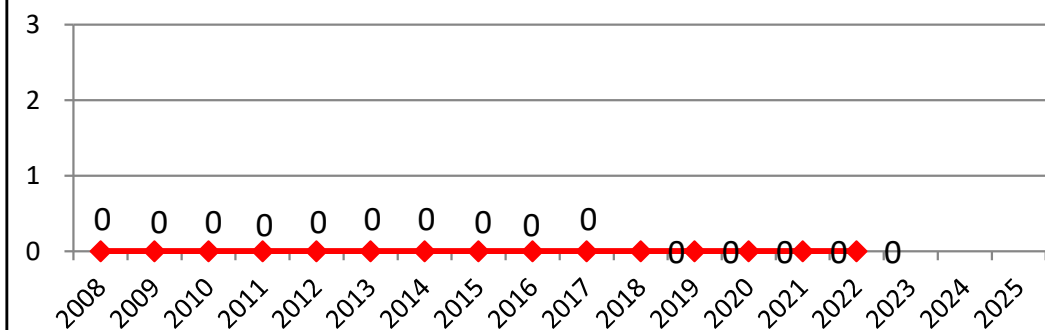
(奈良県)



(兵庫県)



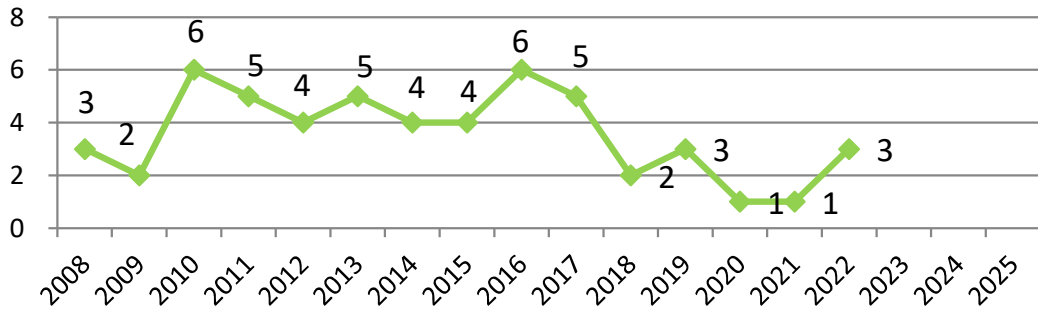
(和歌山県)



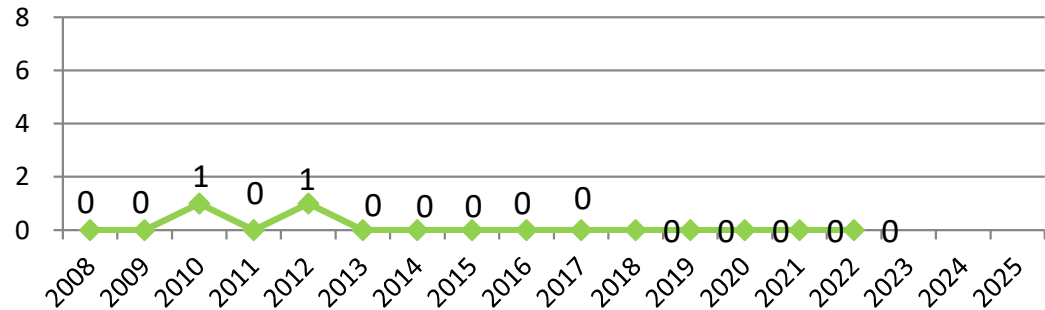
出典:(公財)交通事故総合分析センター

府県別の事業用自動車の死者数(ハイタク)

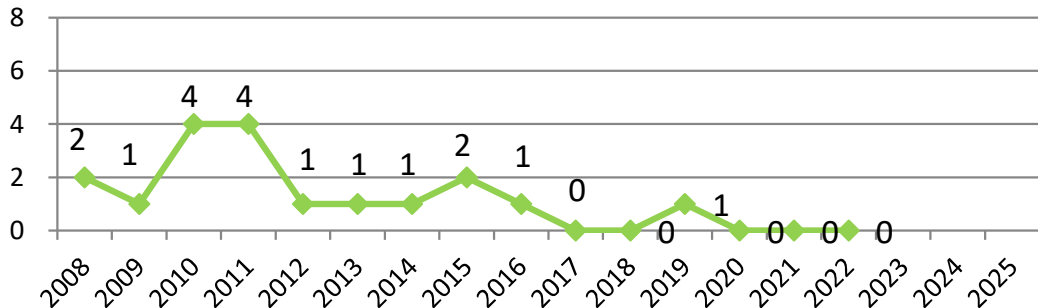
(大阪府)



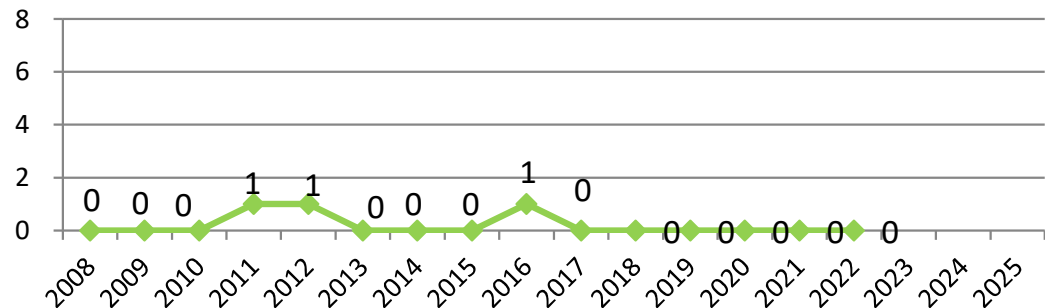
(滋賀県)



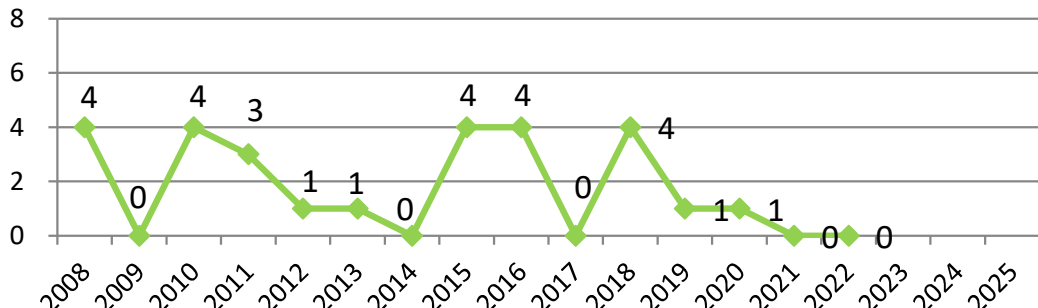
(京都府)



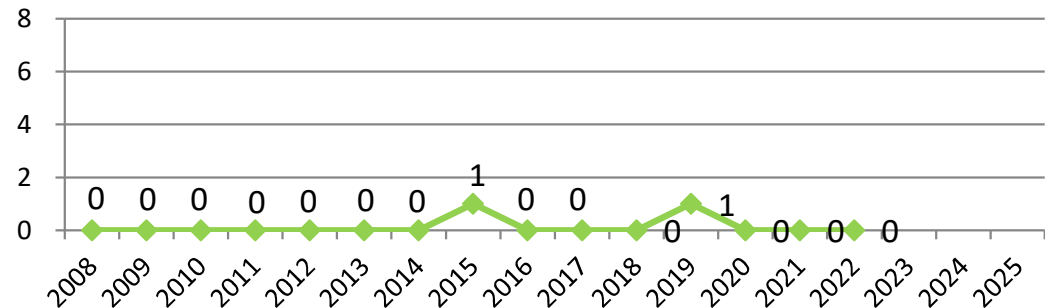
(奈良県)



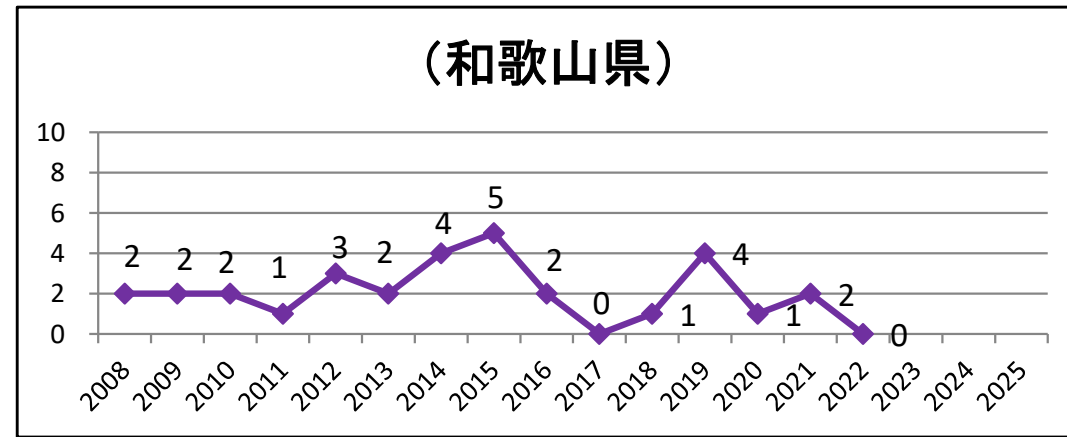
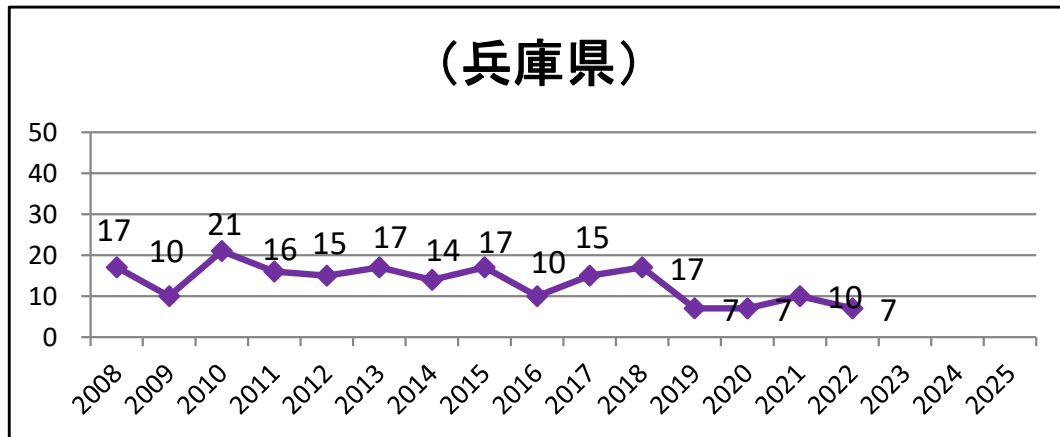
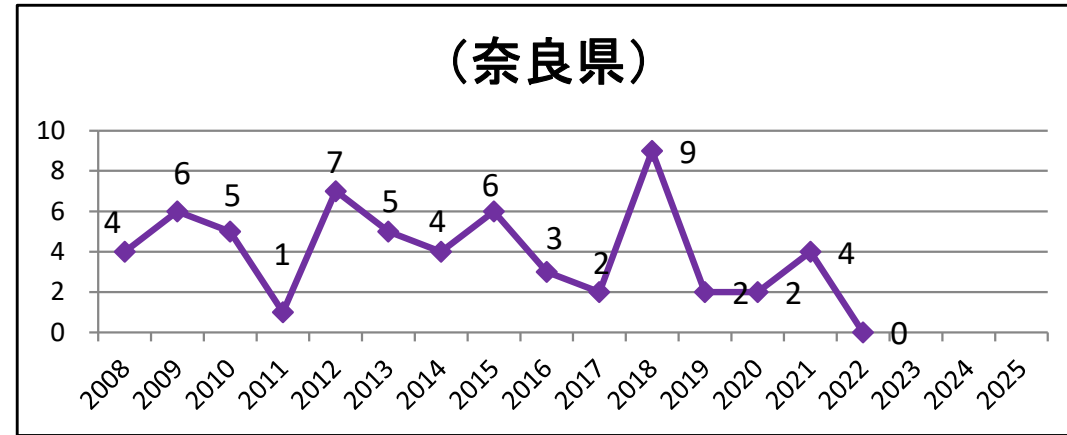
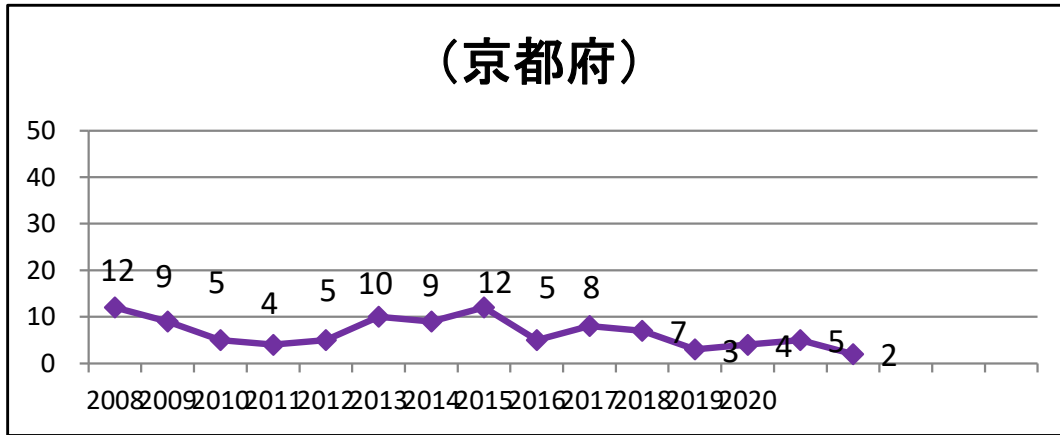
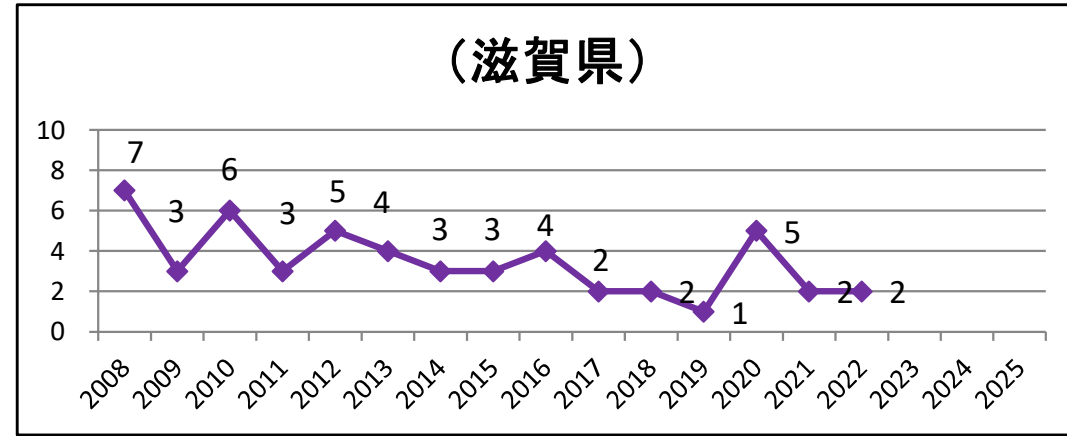
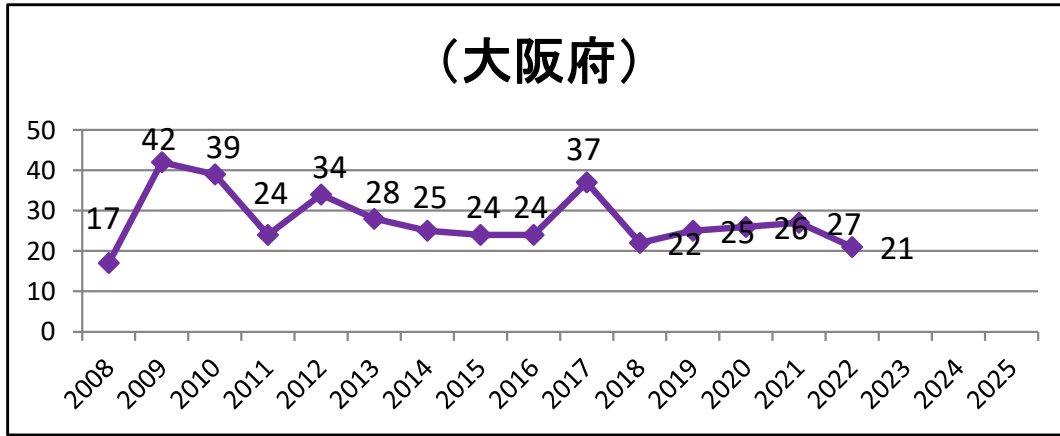
(兵庫県)



(和歌山県)

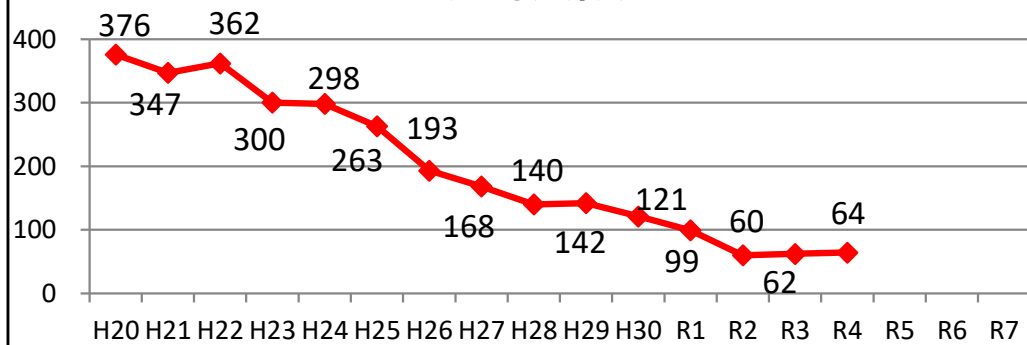


府県別の事業用自動車の死者数(トラック)

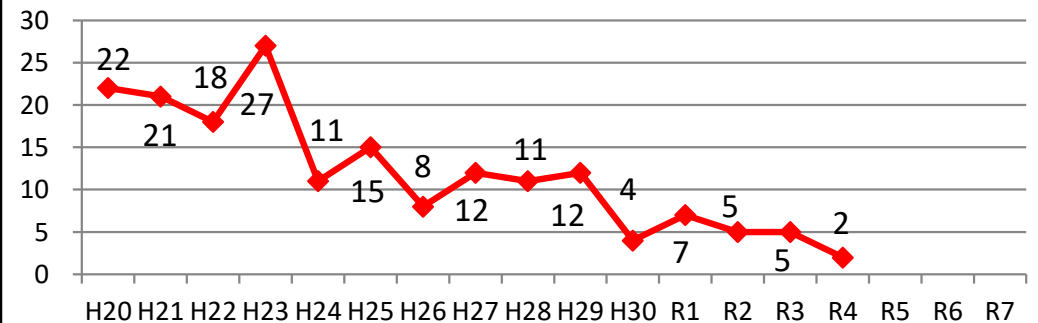


府県別の事業用自動車的人身事故件数(バス)

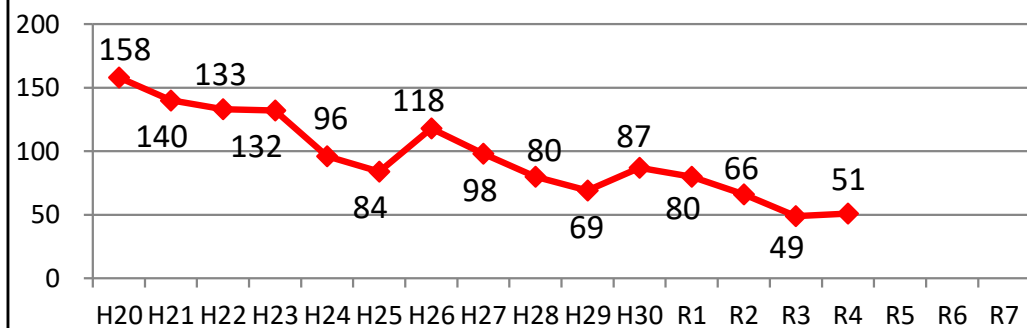
(大阪府)



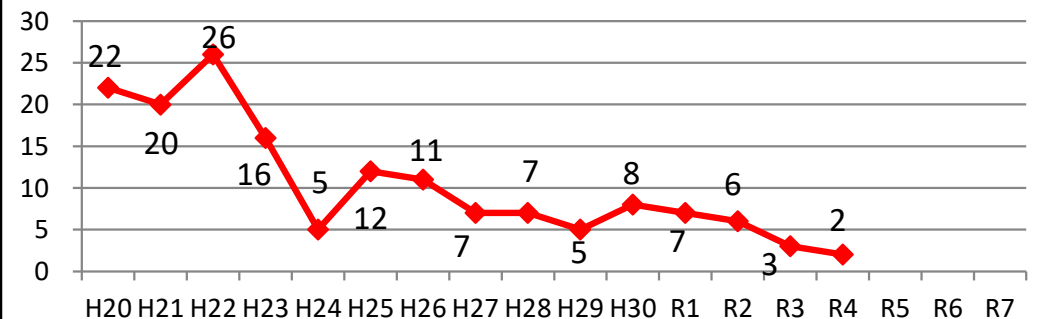
(滋賀県)



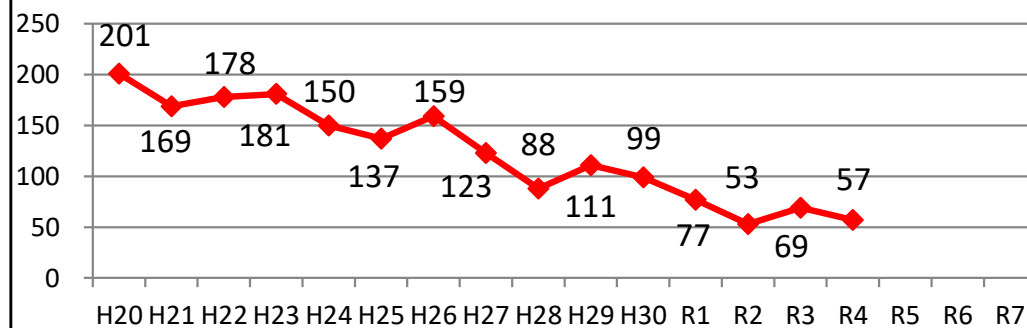
(京都府)



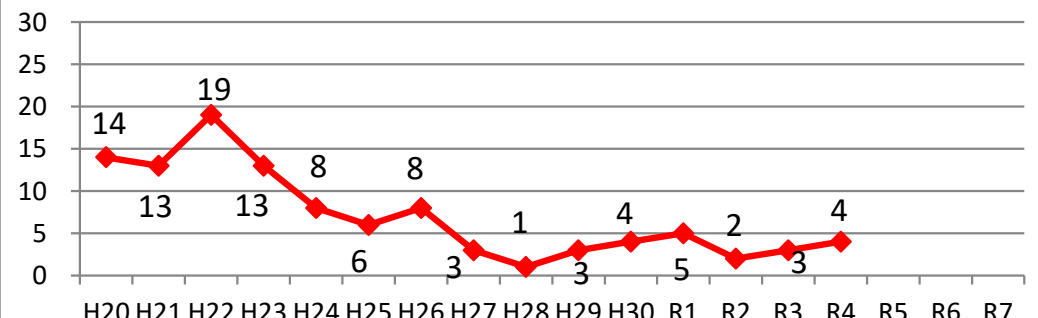
(奈良県)



(兵庫県)

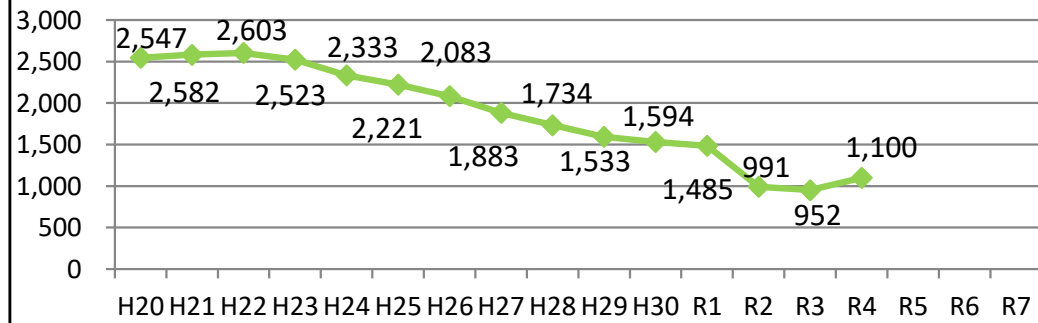


(和歌山県)

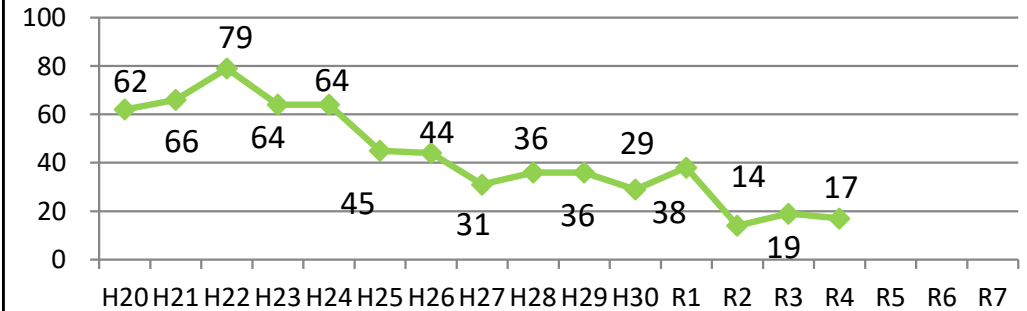


府県別の事業用自動車の人身事故件数(ハイタク)

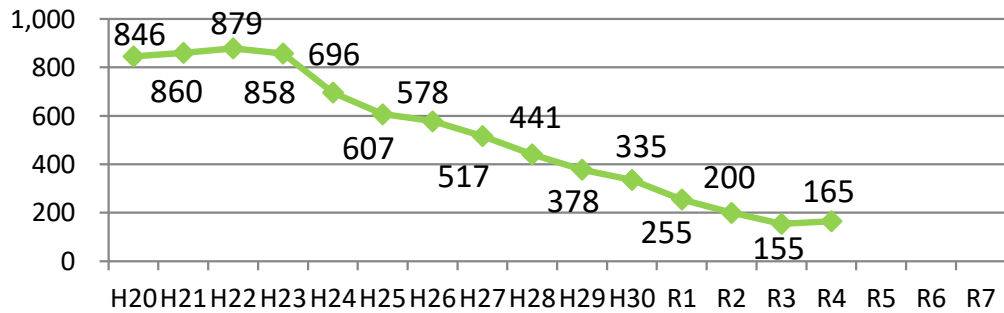
(大阪府)



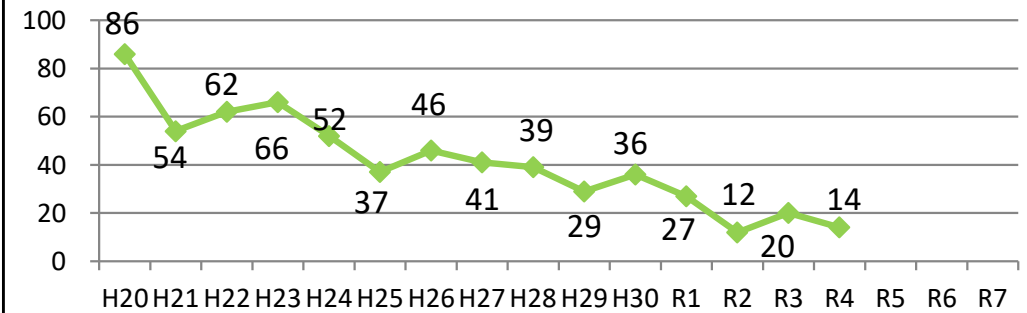
(滋賀県)



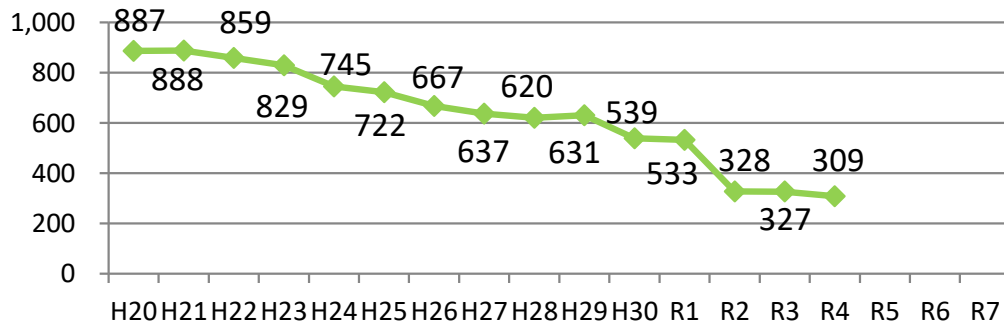
(京都府)



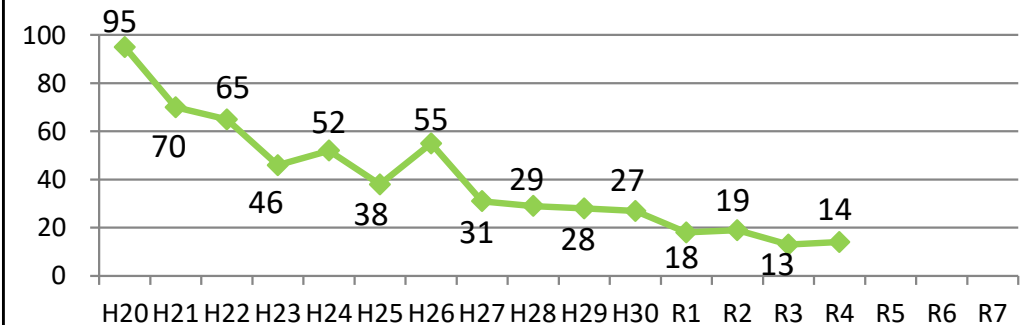
(奈良県)



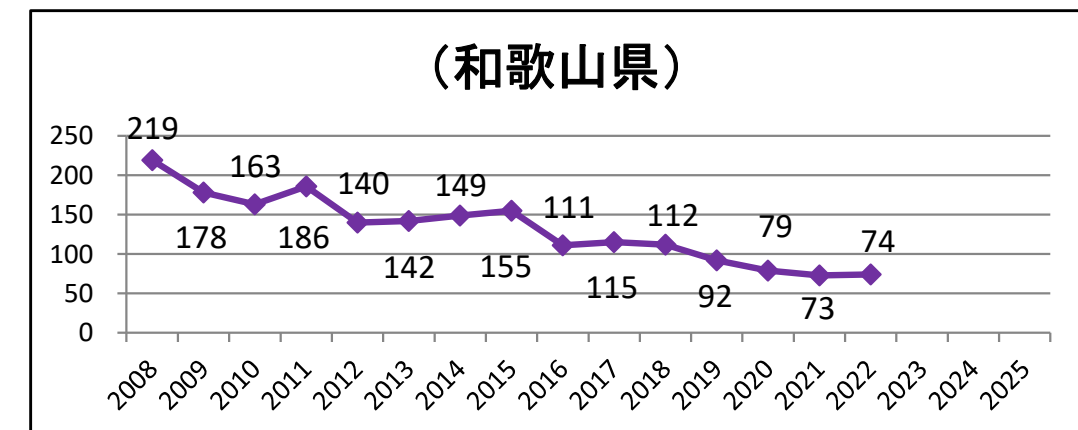
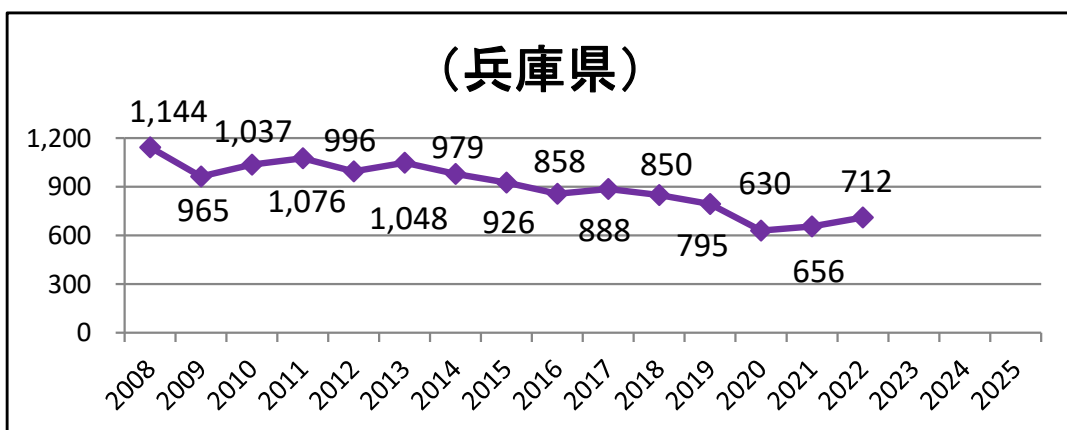
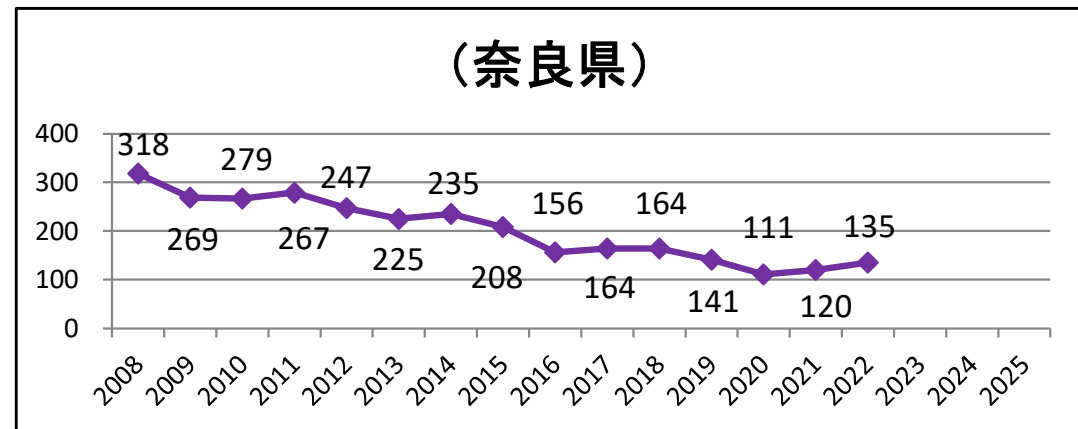
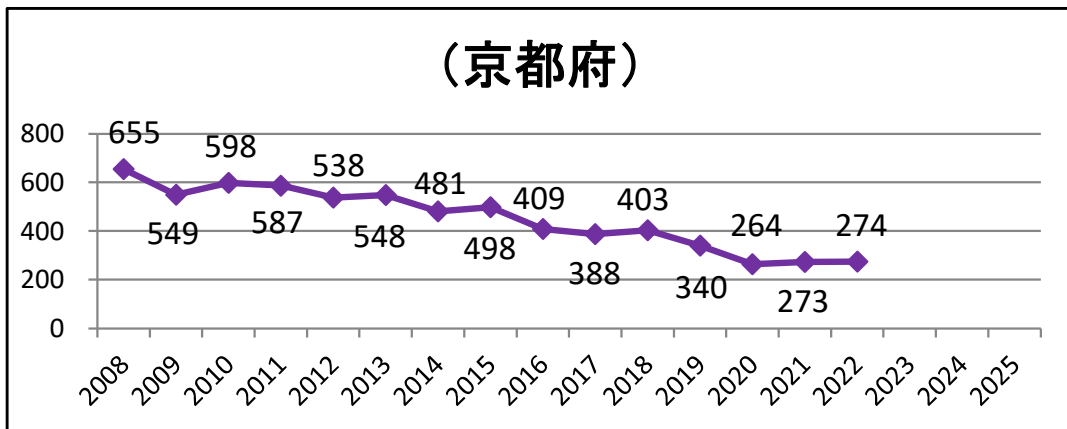
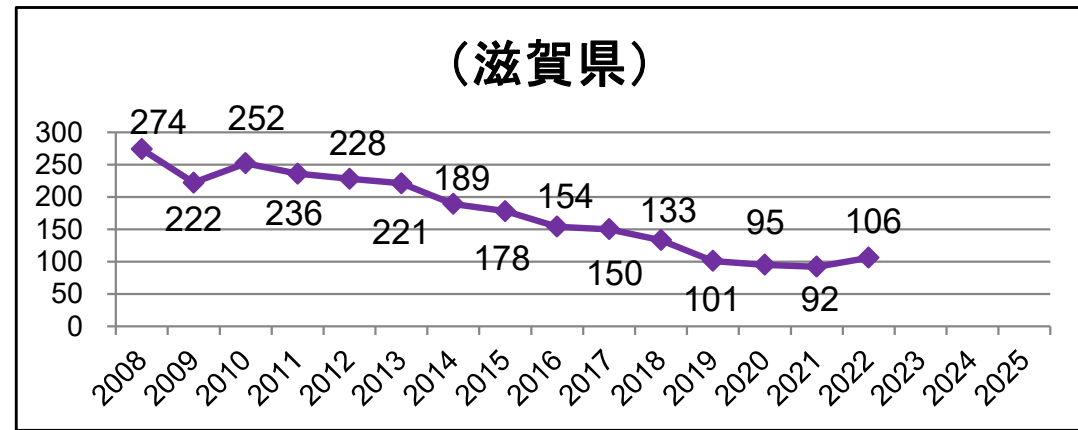
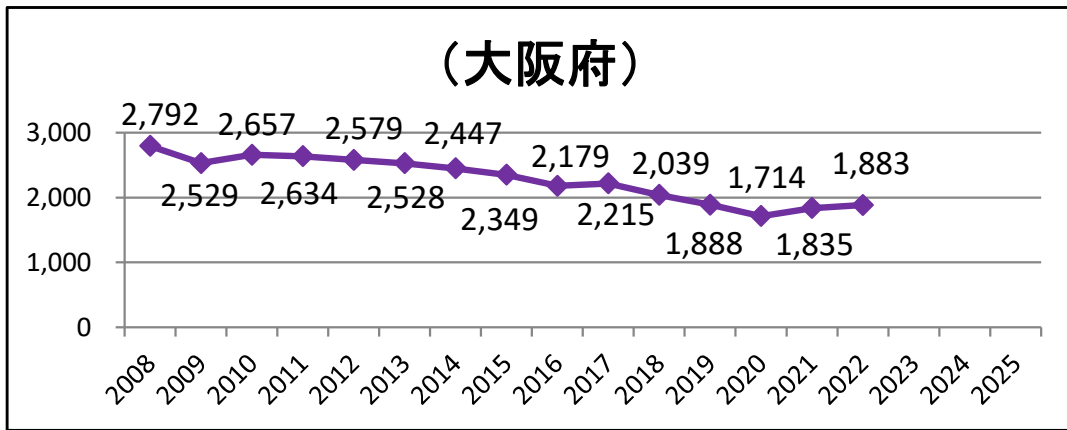
(兵庫県)



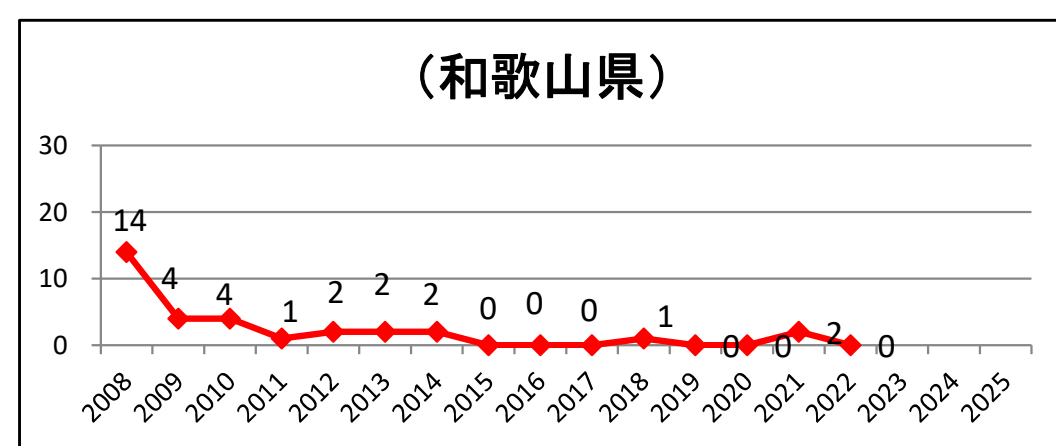
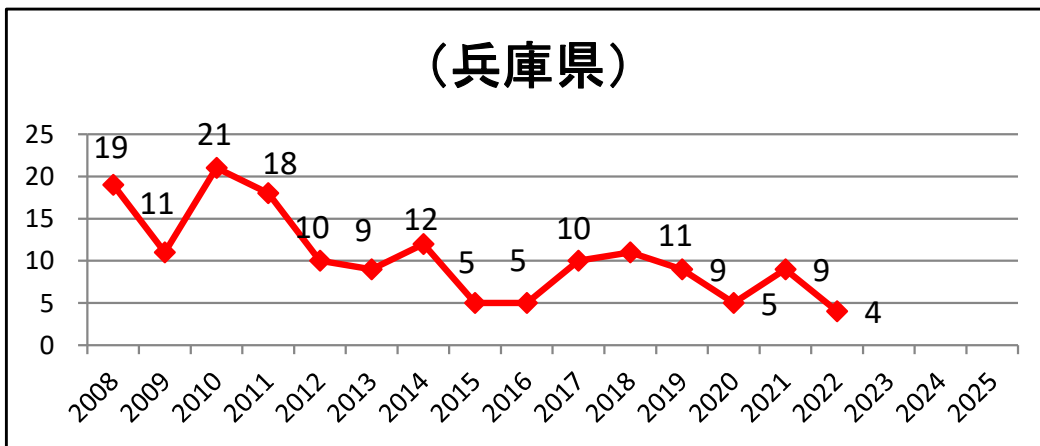
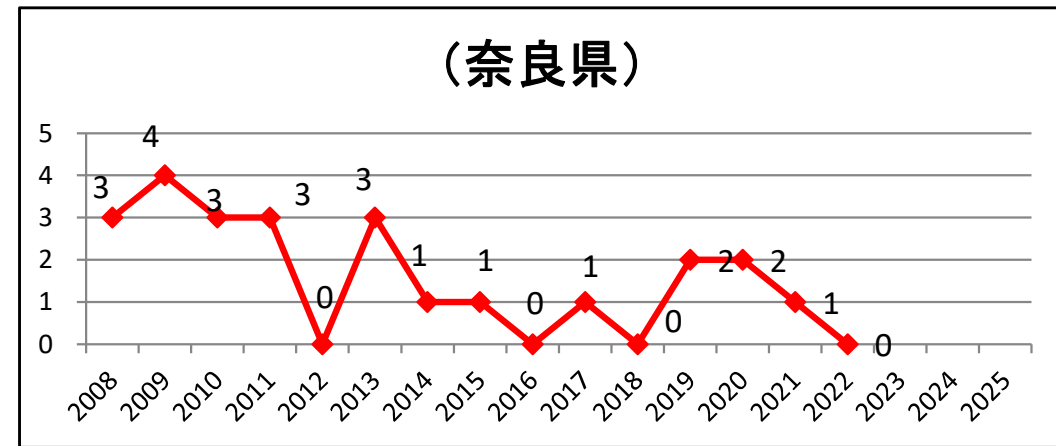
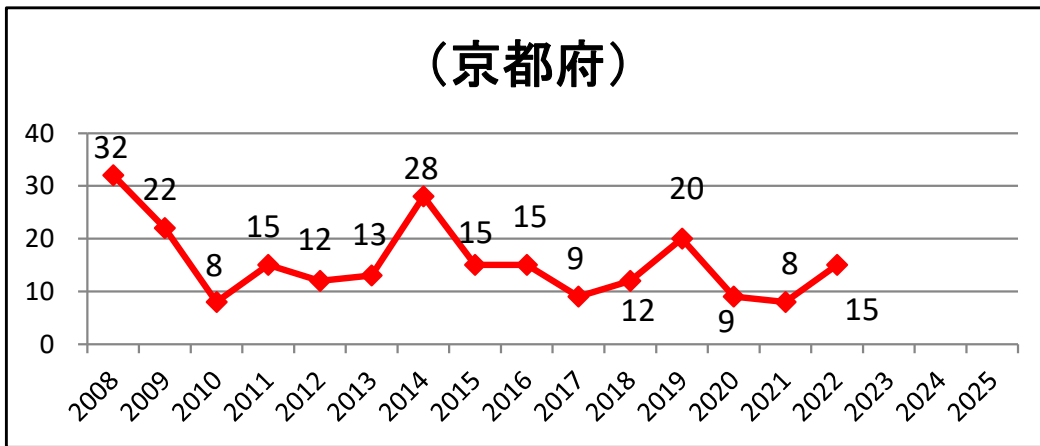
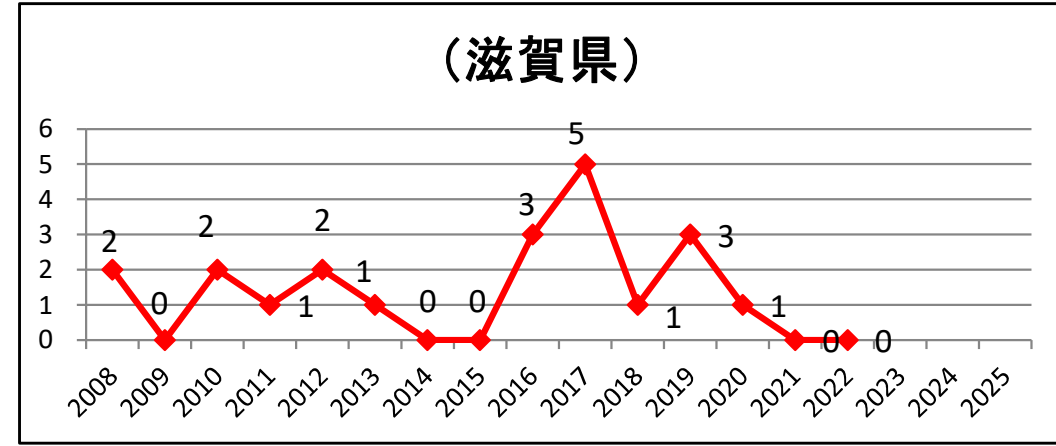
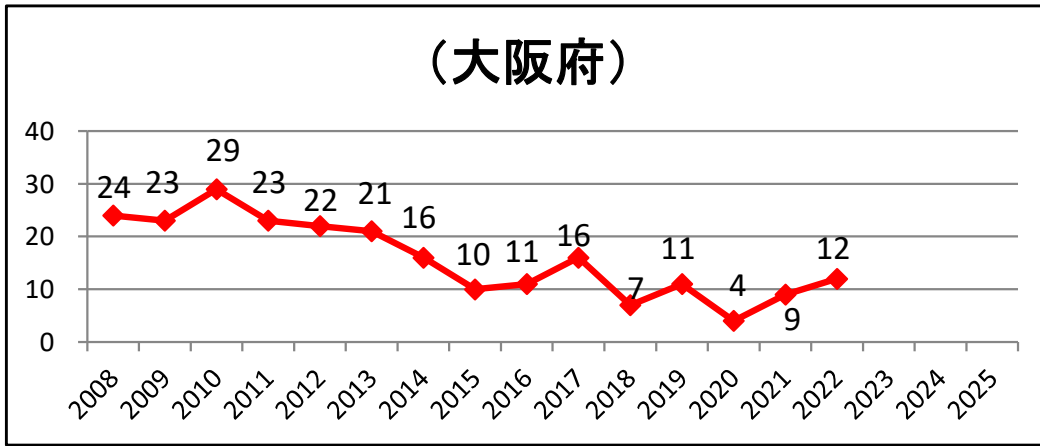
(和歌山県)



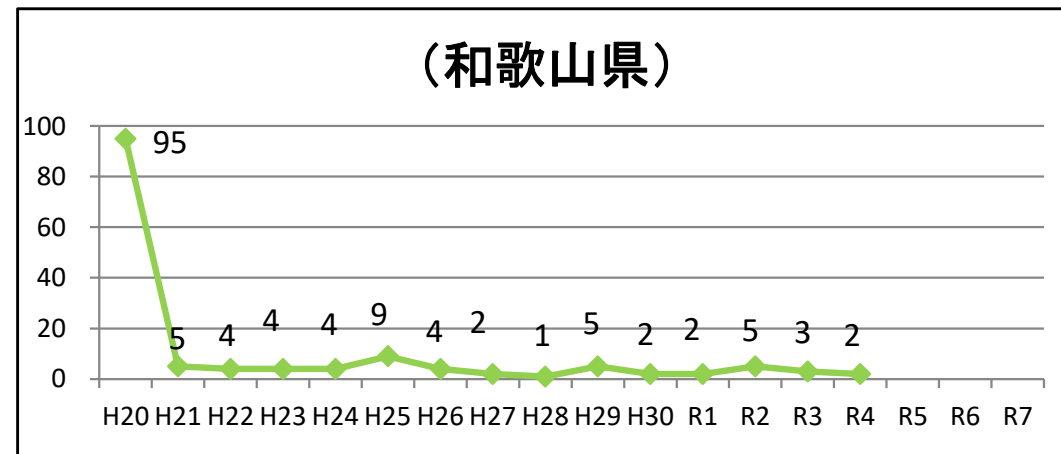
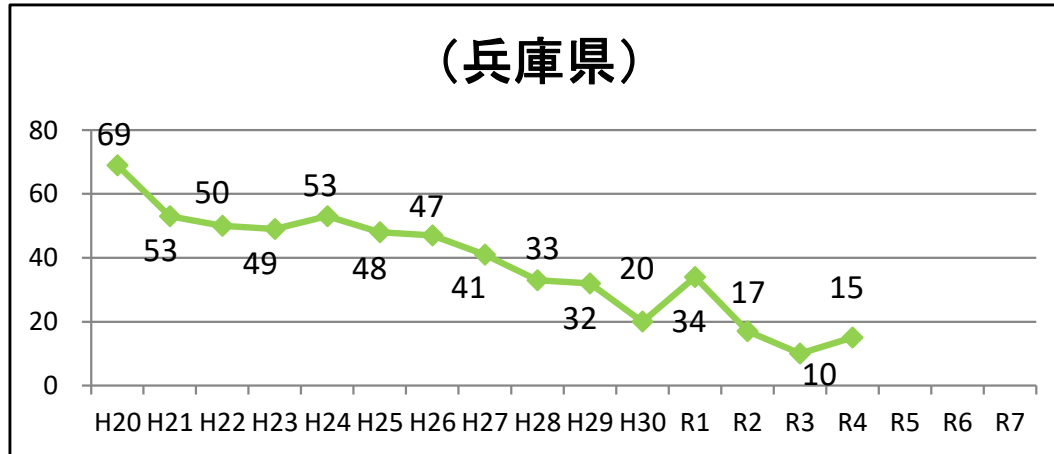
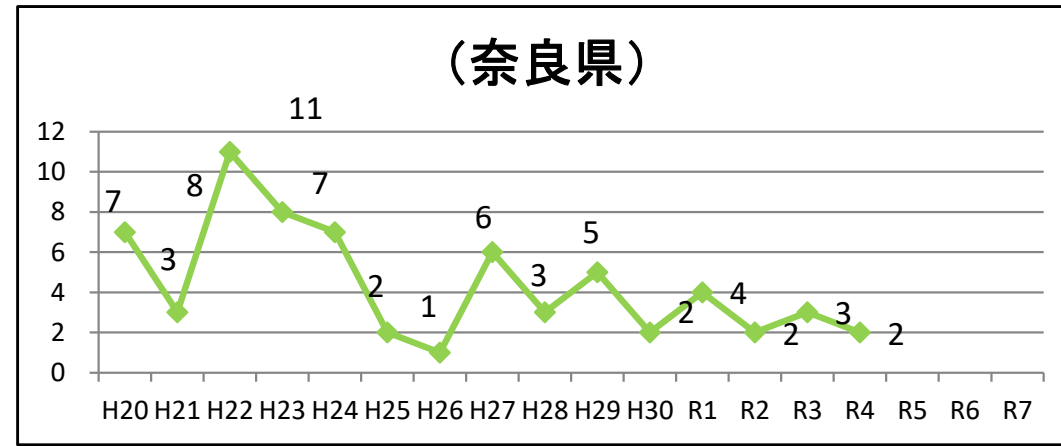
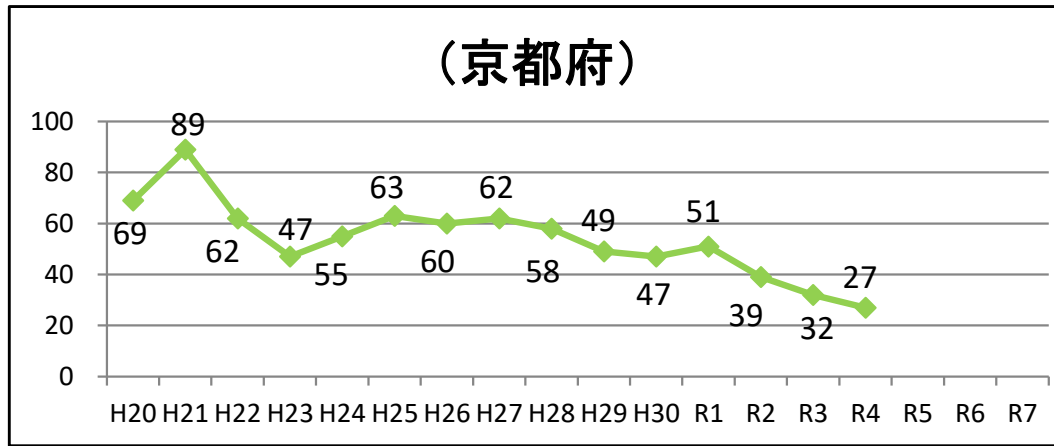
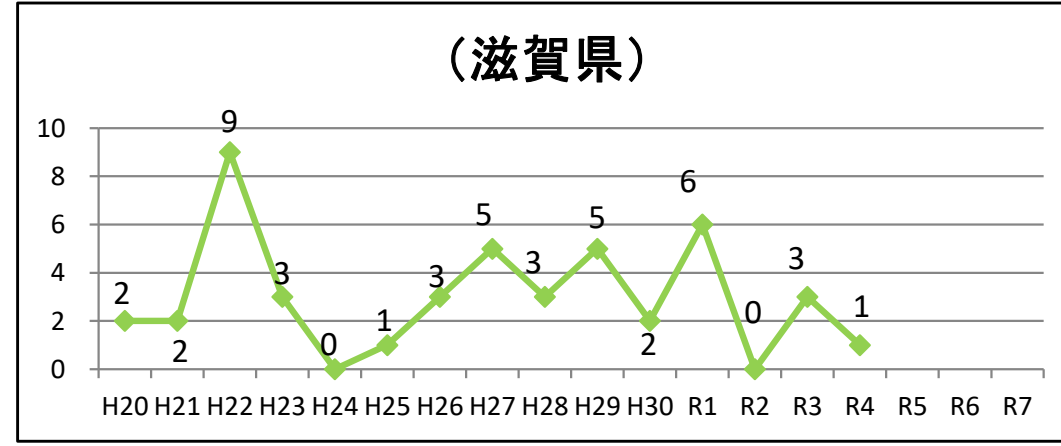
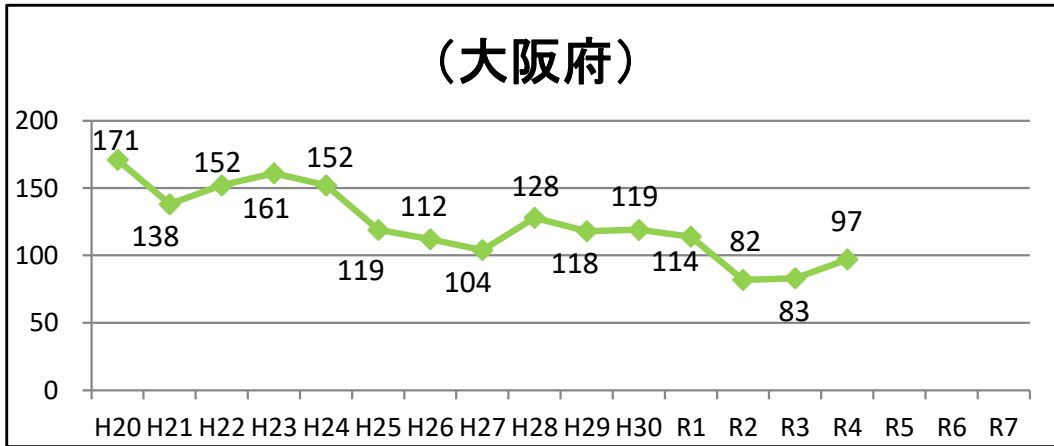
府県別の事業用自動車の人身事故件数(トラック)



府県別の事業用自動車の重傷者数(バス)



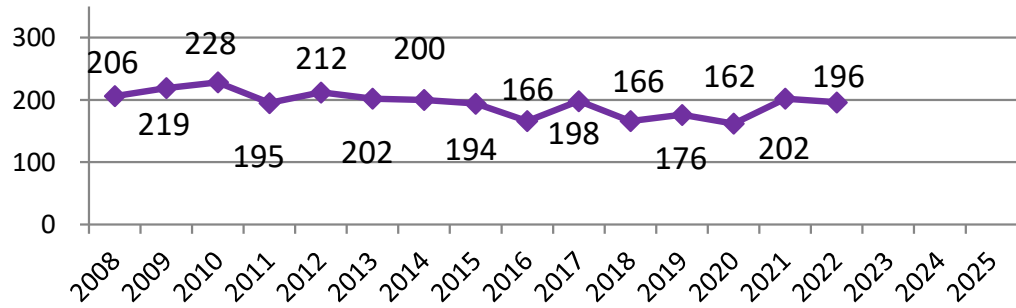
府県別の事業用自動車の重傷者(ハイタク)



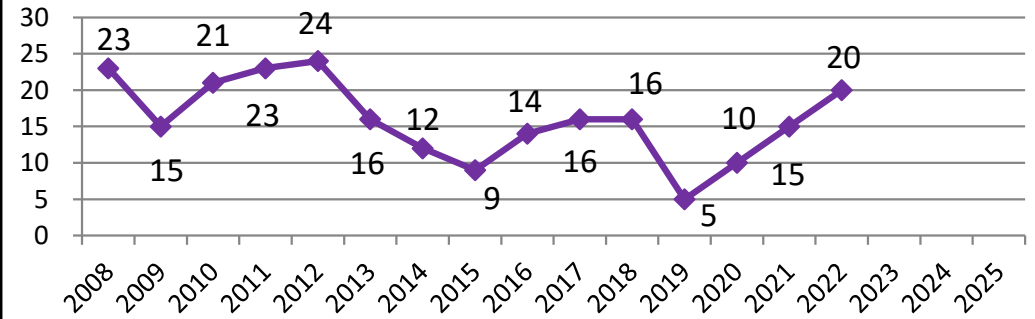
出典: (公財) 交通事故総合分析センター

府県別の事業用自動車の重傷者数(トラック)

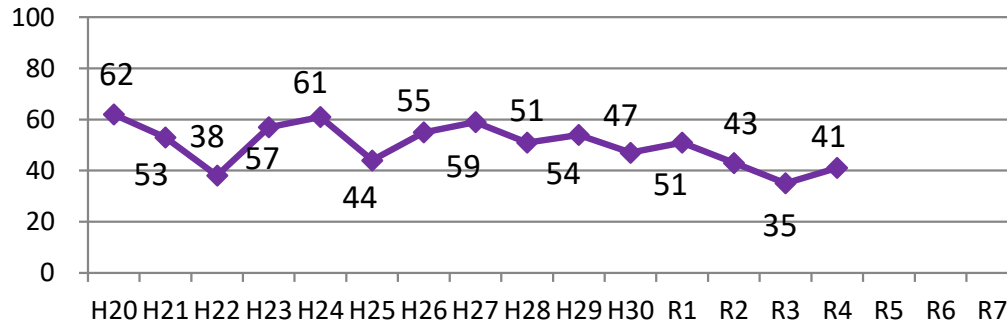
(大阪府)



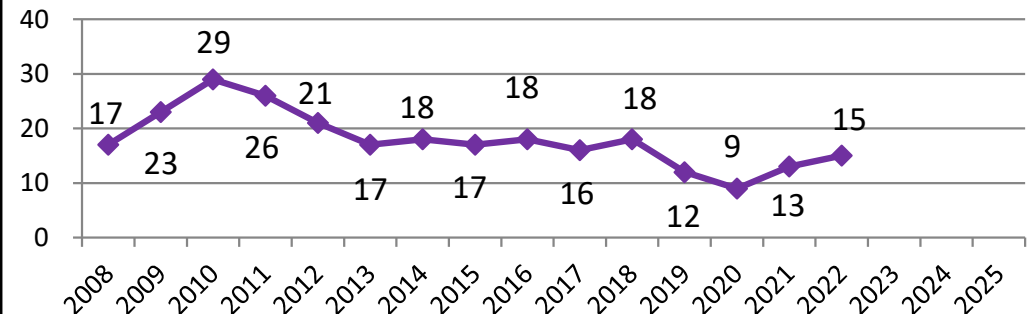
(滋賀県)



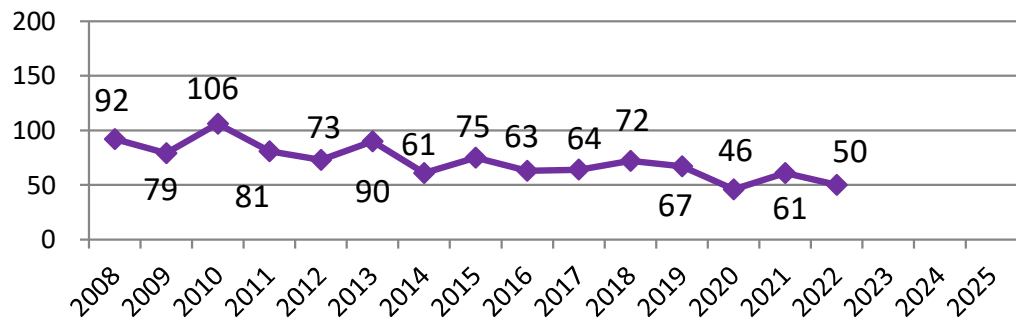
(京都府)



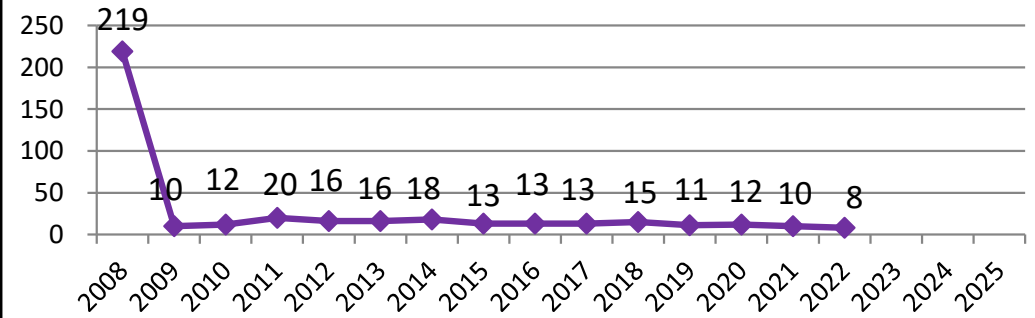
(奈良県)



(兵庫県)

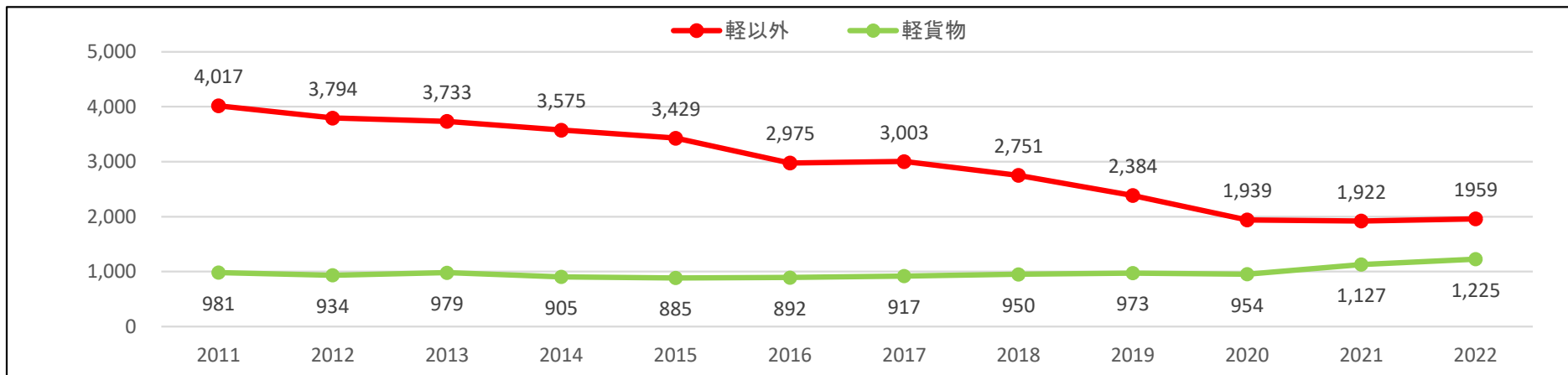


(和歌山県)

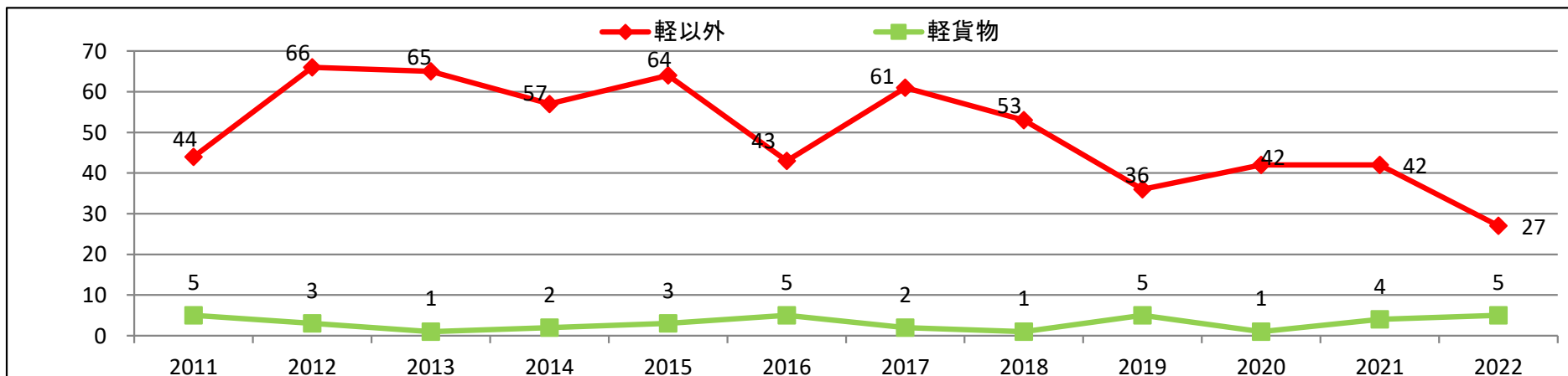


事業用軽自動車の件数等推移(近畿管内)

事故件数



死者数



重傷者数

